



ユニプレス株式会社 2016年度決算報告

2017年5月19日 代表取締役 社長執行役員 吉澤 正信



UNIPRES CORPORATION



2016年度決算について

2017年度見通しについて

将来に向けた基盤作り



2016年度決算について

**1. 売上高は、得意先の増産影響はあったものの、
為替換算影響等により減収**

2. 営業利益は、UPS活動を柱とした合理化効果等により増益

2016年度連結決算サマリー

業績推移



	14年度	15年度(A)	16年度(B)	(B)-(A)
売上高	3,087	3,254	3,212	-42
営業利益	178	220	230	+10
経常利益	184	182	230	+48
親会社株主に帰属する当期純利益	72	98	144	+46

※ 売上高は、得意先の増産影響はあったものの、円高による為替換算影響等により、42億円減収

※ 営業利益は、為替換算影響はあったものの、合理化効果等により、10億円増益

製品群別連結売上構成

(億円)

	2015年度		2016年度		売上高 増減額	構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比		
車体プレス製品	2,828	86.9%	2,734	85.1%	-94	-1.8%
トランスミッション製品	365	11.2%	409	12.7%	+44	+1.5%
樹脂製品	42	1.3%	42	1.3%	0	0.0%
その他	19	0.6%	27	0.9%	+8	+0.3%
合計	3,254	100%	3,212	100%	-42	—

※ 構成比に大きな変化は無し

得意先別連結売上構成

(億円)

	2015年度		2016年度		構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日産自動車関連 小計	2,838	87.2%	2,686	83.6%	-3.6%
日産自動車	444	13.7%	502	15.6%	+1.9%
東風汽車	512	15.7%	464	14.4%	-1.3%
北米日産	523	16.1%	449	14.0%	-2.1%
ジヤトコ（海外拠点含む）	318	9.8%	354	11.0%	+1.2%
メキシコ日産自動車	404	12.4%	349	10.9%	-1.5%
欧州日産自動車	273	8.4%	240	7.5%	-0.9%
日産車体	125	3.8%	134	4.2%	+0.4%
カルソニックカンセイ（海外拠点含む）	138	4.2%	114	3.5%	-0.7%
ルノー日産インドア	41	1.3%	35	1.1%	-0.2%
タイ日産自動車	39	1.2%	27	0.8%	-0.4%
インドネシア日産	7	0.2%	9	0.3%	+0.1%
鄭州日産	14	0.4%	9	0.3%	-0.1%

※ 他社拡販により、構成比は合計3.6%減少



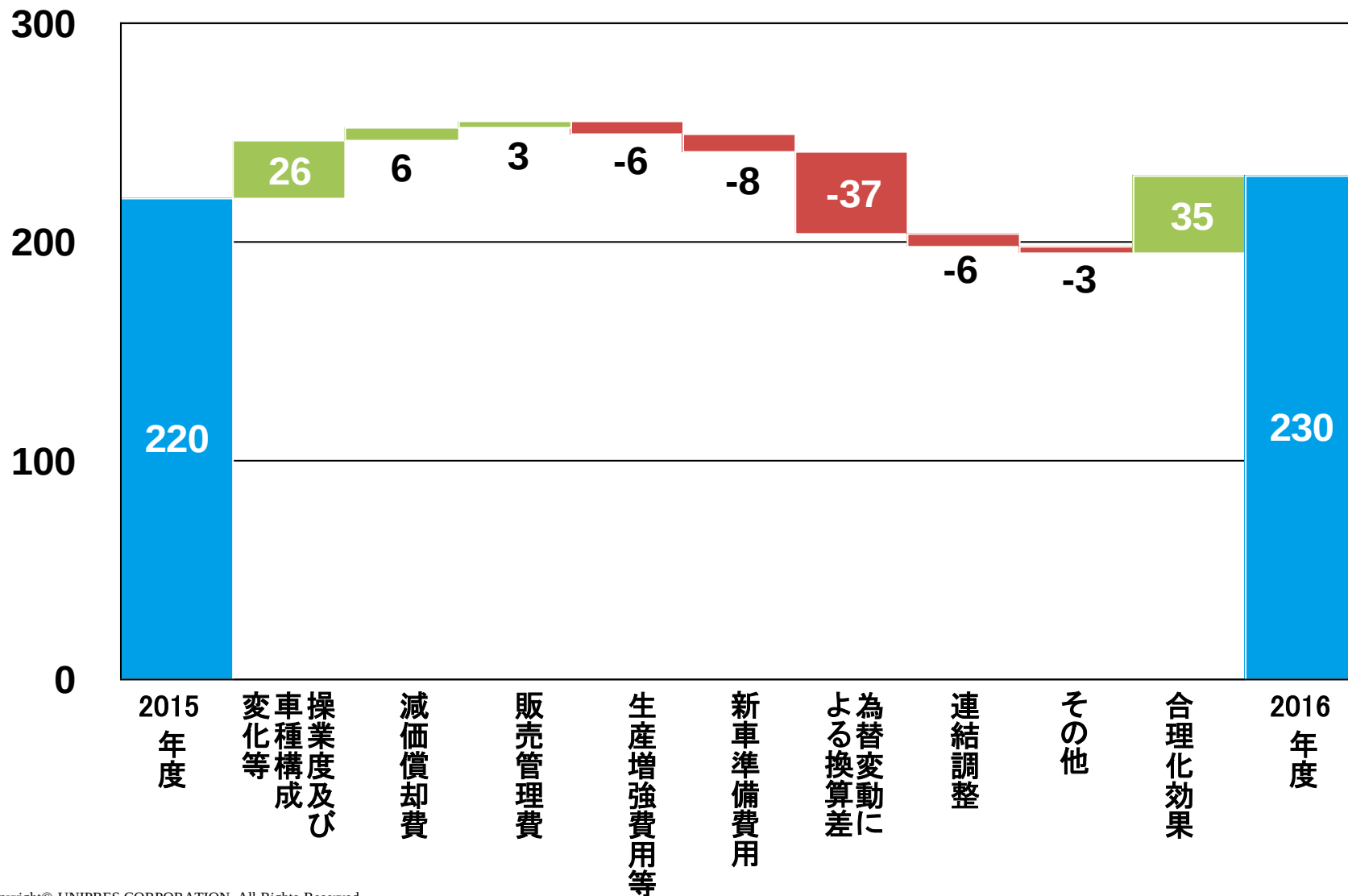
得意先別連結売上構成

		2015年度		2016年度		構成比 増減	(億円)
		売上高	構成比	売上高	構成比		
日産自動車関連以外の得意先 小計		416	12.8%	526	16.4%	+3.6%	
内)ホンダ	米国ホンダ	100.4	3.1%	90.3	2.8%	-0.3%	
	英国ホンダ	16.2	0.5%	44.9	1.4%	+0.9%	
	本田技研工業	22.9	0.7%	40.6	1.3%	+0.6%	
	メキシコホンダ	34.3	1.1%	28.2	0.9%	-0.2%	
	インドネシアホンダ	6.5	0.2%	20.3	0.6%	+0.4%	
ルノー	ルノー	33.3	1.0%	47.5	1.5%	+0.5%	
	東風ルノー	0.6	0.0%	23.8	0.7%	+0.7%	
マツダ	マツダ	28.2	0.9%	27.7	0.9%	0.0%	
	メキシコマツダ	17.3	0.5%	13.2	0.4%	-0.1%	
ダイナックス(海外拠点含む)		23.9	0.7%	27.0	0.8%	+0.1%	
アイシンAW(海外拠点含む)		10.7	0.3%	14.3	0.4%	+0.1%	
UDトラックス		4.7	0.1%	7.1	0.2%	+0.1%	
SUBARU		5.1	0.2%	6.5	0.2%	0.0%	
トヨタ(海外拠点含む)		6.7	0.2%	5.7	0.2%	0.0%	
ダイハツ工業		2.7	0.1%	2.6	0.1%	0.0%	
NSKワーナー		2.1	0.1%	2.1	0.1%	0.0%	
いすゞ自動車		2.4	0.1%	1.9	0.1%	0.0%	
三菱自動車工業		1.1	0.0%	1.0	0.0%	0.0%	
スズキ		1.3	0.0%	0.9	0.0%	0.0%	

※ ホンダおよびルノーへの拡販を中心に売上高が110億円増加し、構成比は3.6%増加

営業利益の増減要因

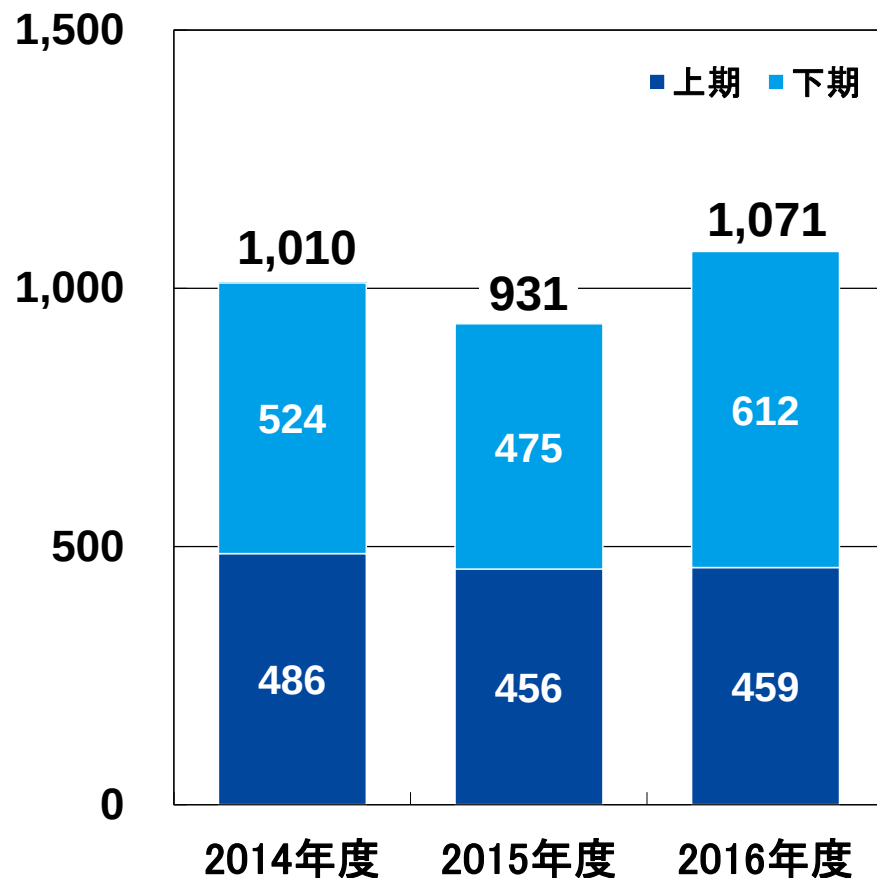
(億円)



地域別売上高・営業利益(日本)

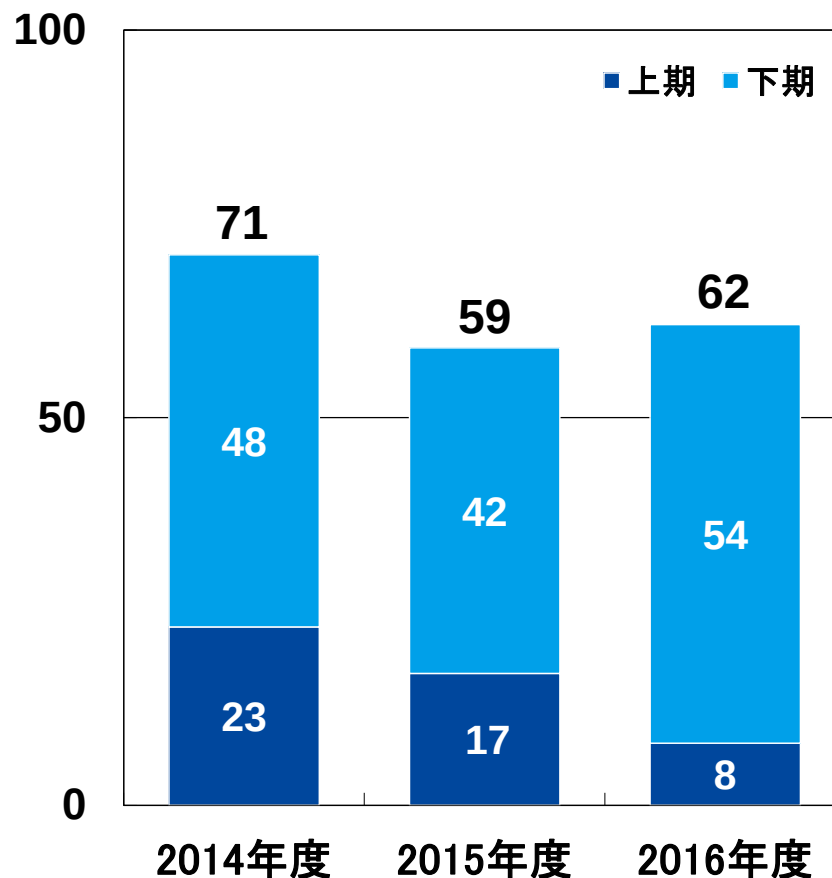
(億円)

売上高



(億円)

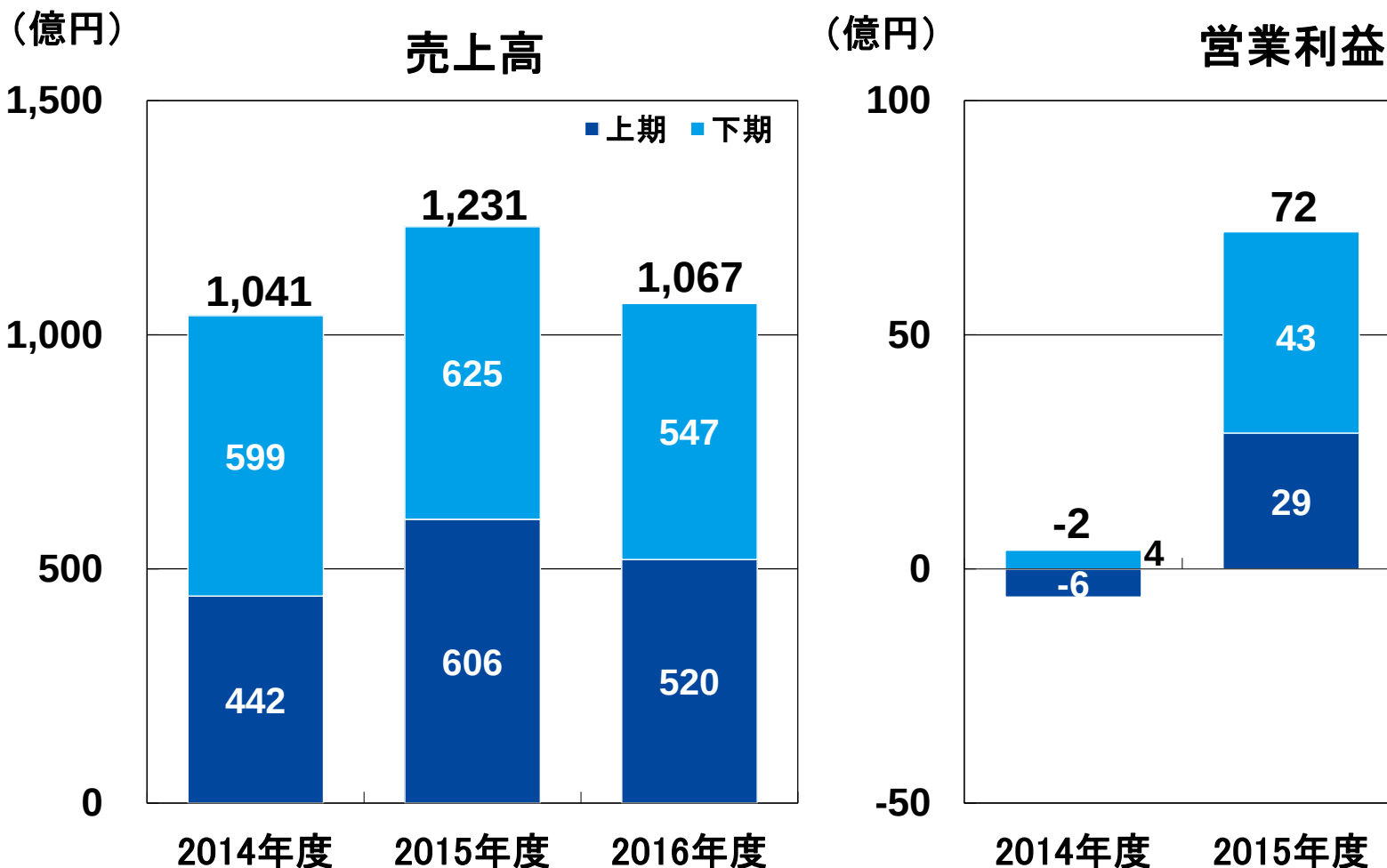
営業利益



※ 売上高は、得意先の増産影響により、15.0%増収

※ 営業利益は、3億円増益

地域別売上高・営業利益(米州)



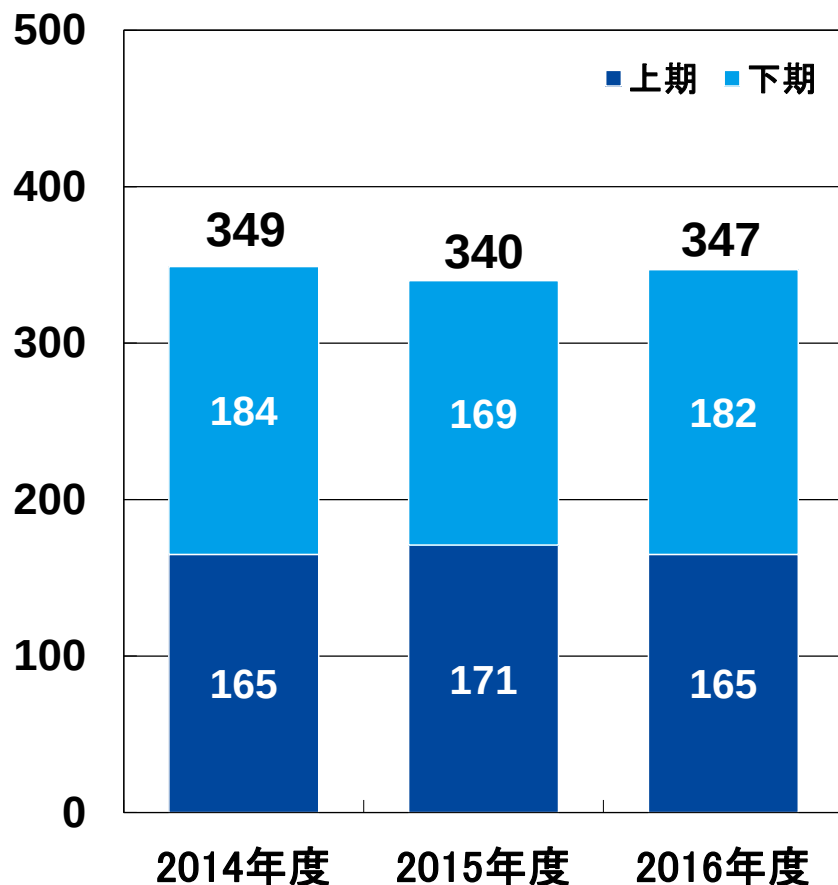
※ 売上高は、得意先の増産影響はあったものの、為替換算影響により、13.3%減収

※ 営業利益は、合理化効果等により、1億円の増益

地域別売上高・営業利益(欧州)

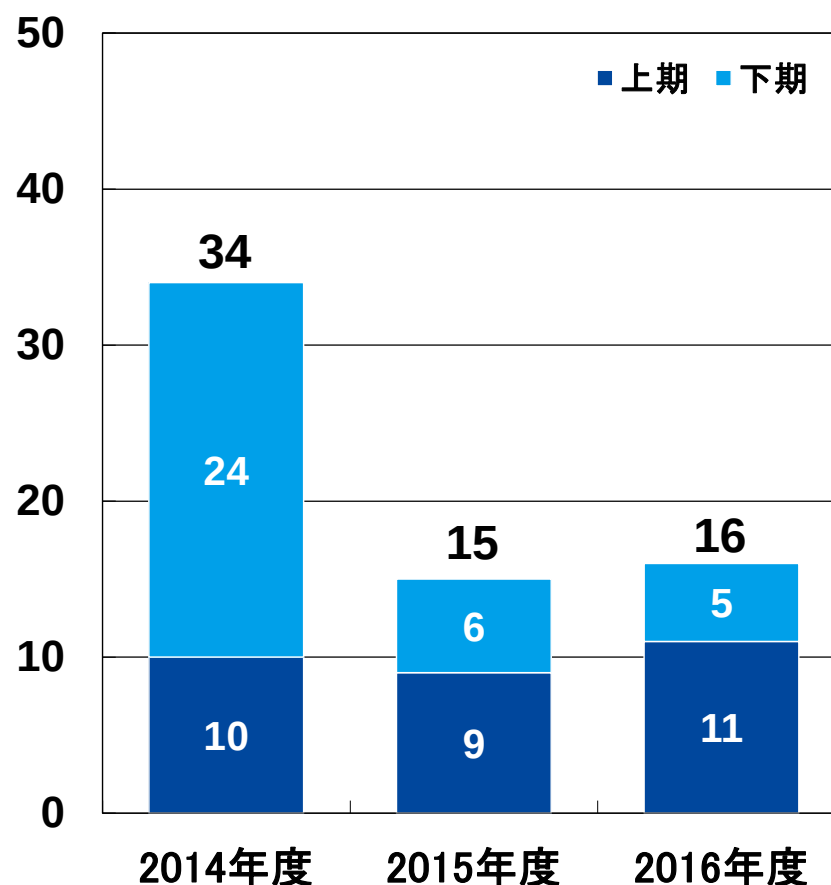
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



※ 売上高は、得意先の増産影響等により、2.1%増収

※ 営業利益は、1億円増益

地域別売上高・営業利益(アジア)

(億円)

売上高

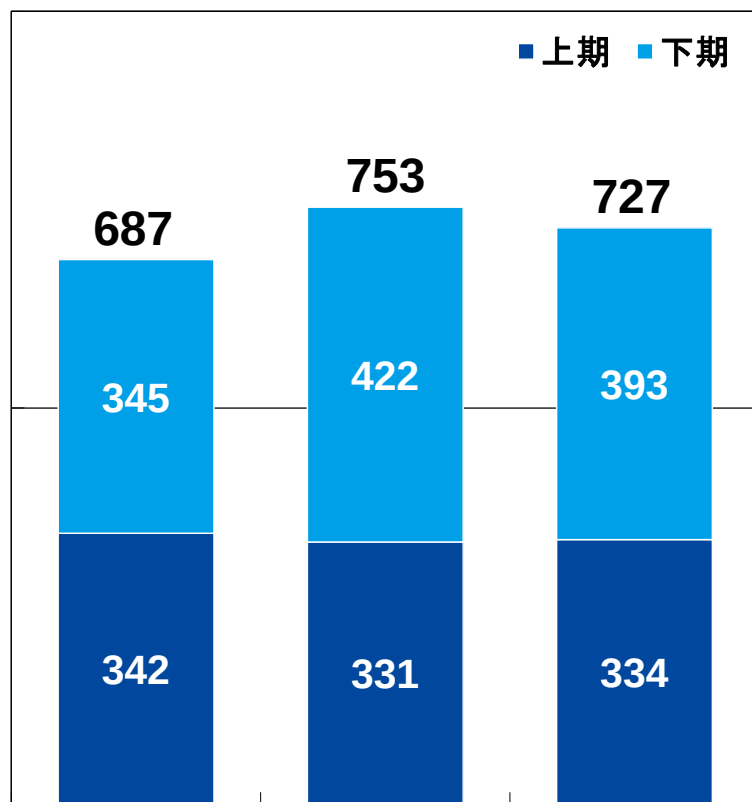
(億円)

営業利益

1,000

500

0



2014年度

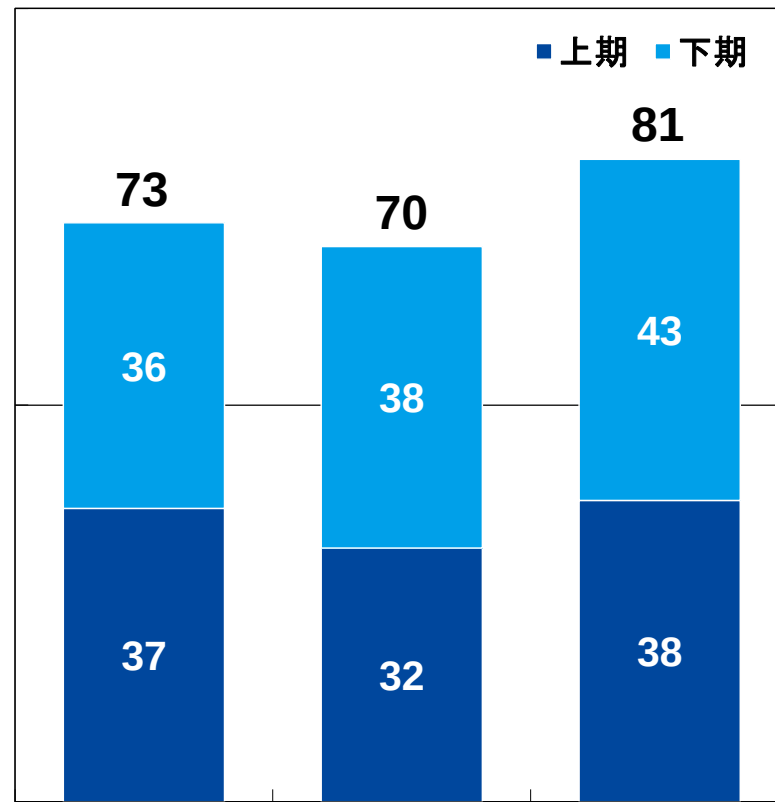
2015年度

2016年度

100

50

0



2014年度

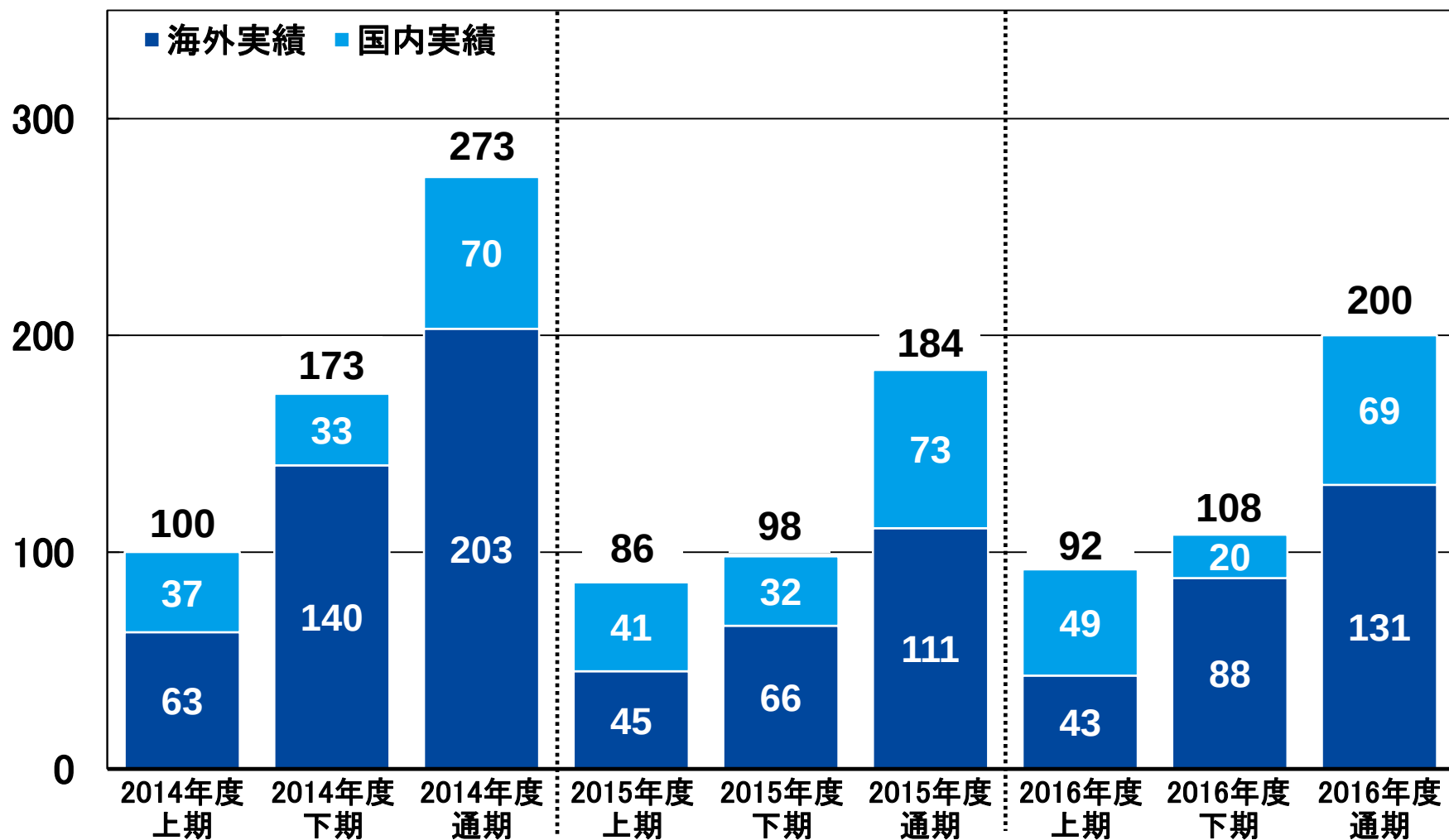
2015年度

2016年度

※ 売上高は、得意先の増産影響はあったものの、為替換算影響により、3.5%減収

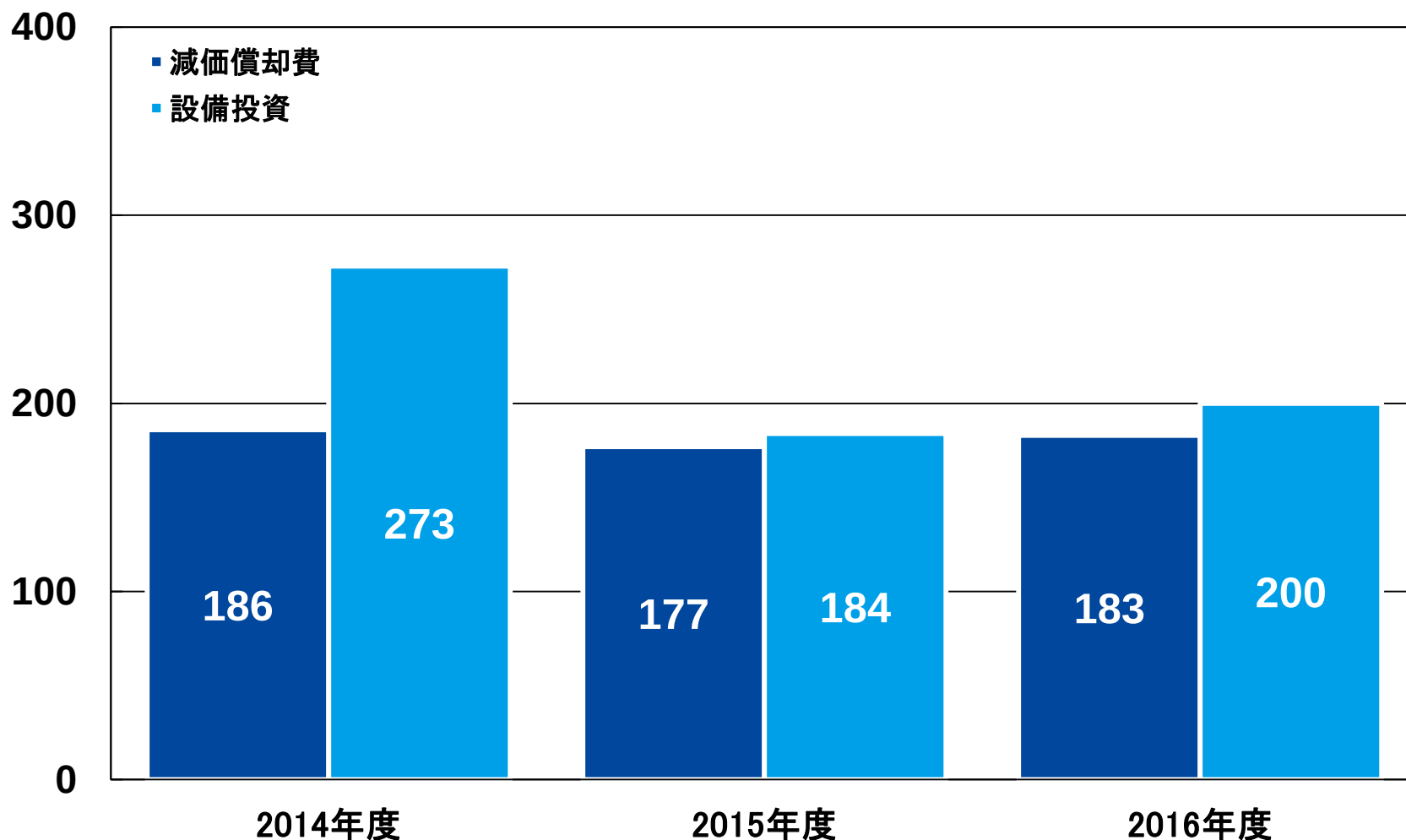
※ 営業利益は、合理化効果等により、15.7%増益

(億円)



設備投資・減価償却費推移

(億円)

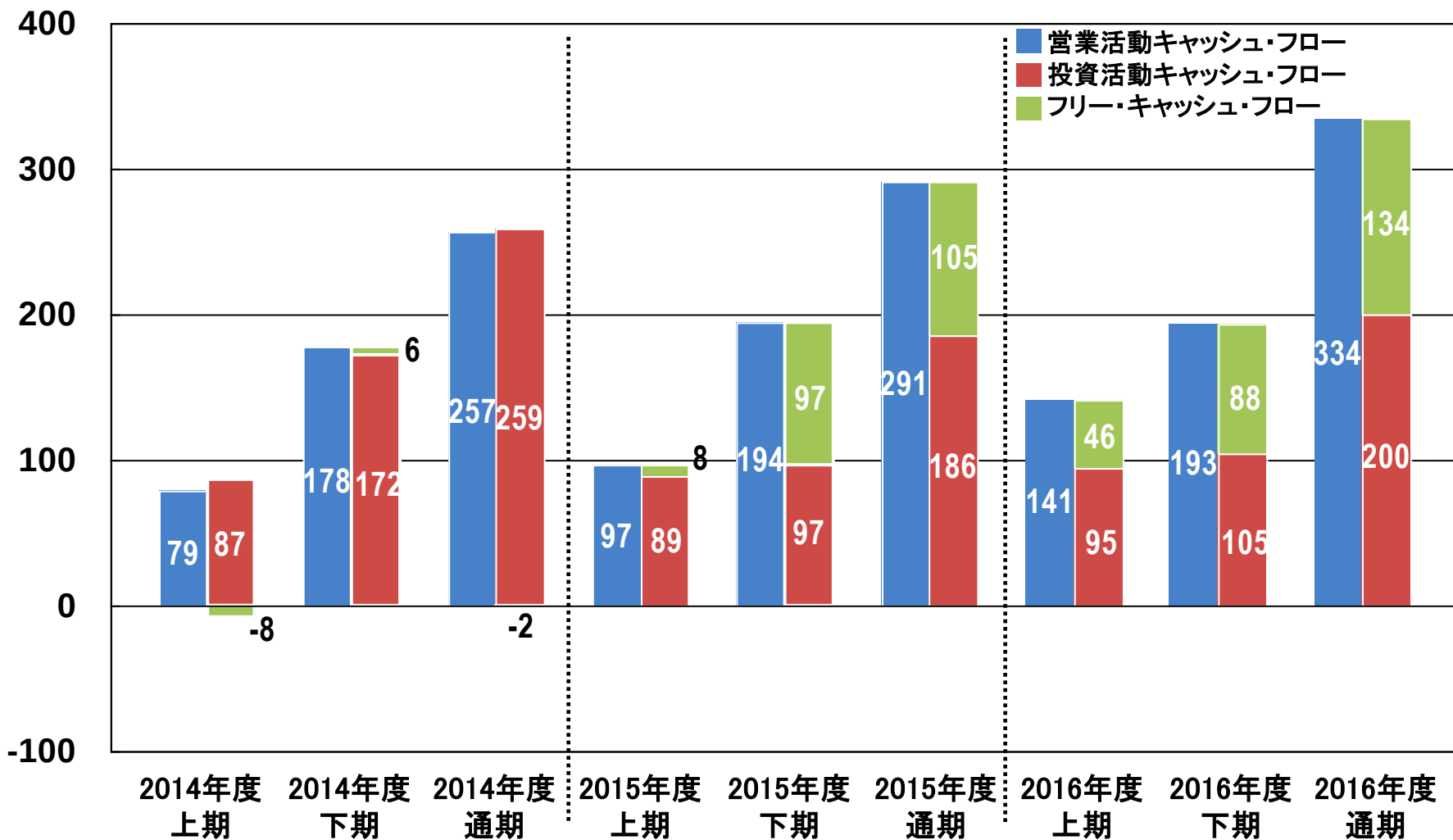


※ 設備投資・減価償却費ともに、ほぼ計画通り



キャッシュ・フロー

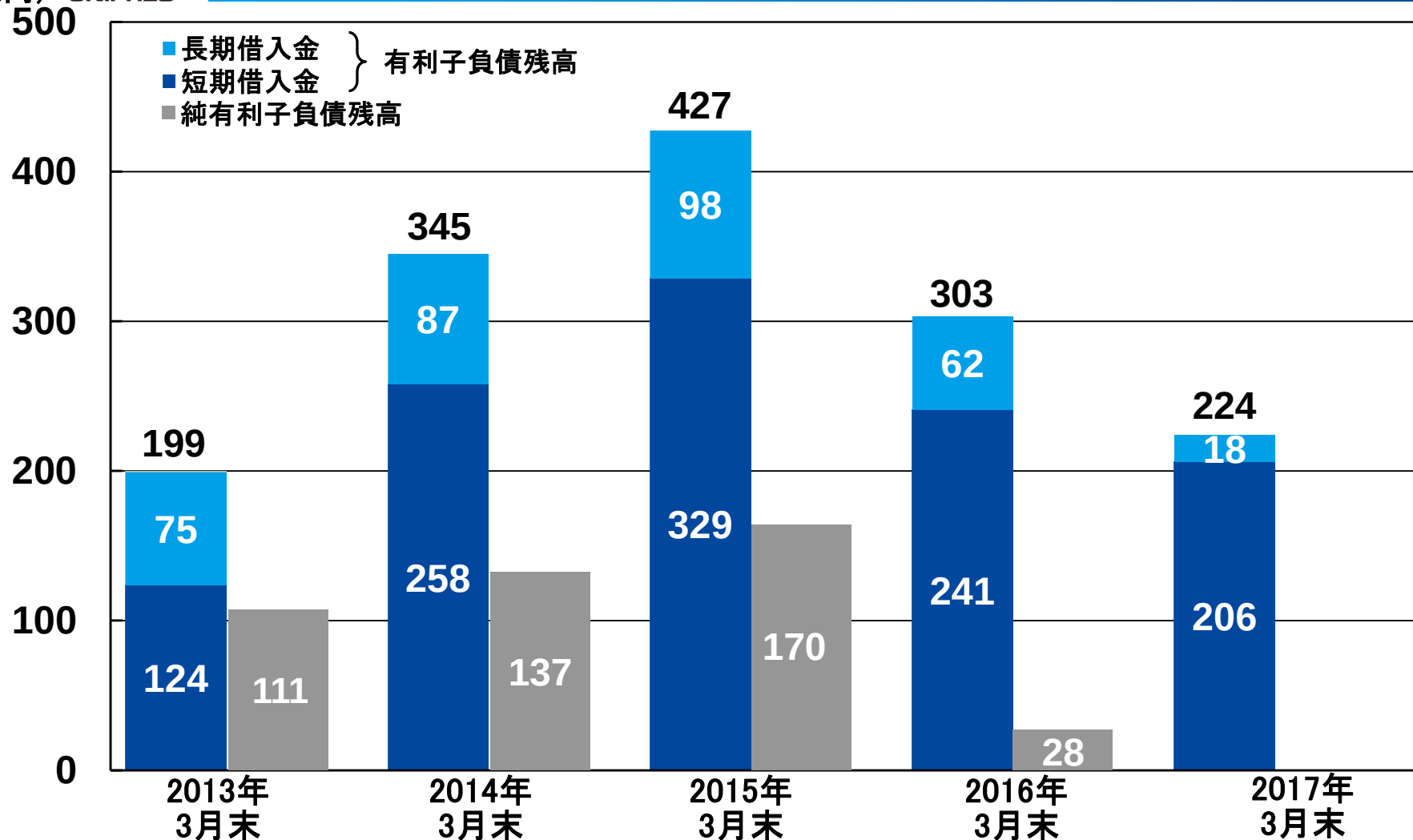
(億円)



※ 134億円のフリー・キャッシュ・フローを確保

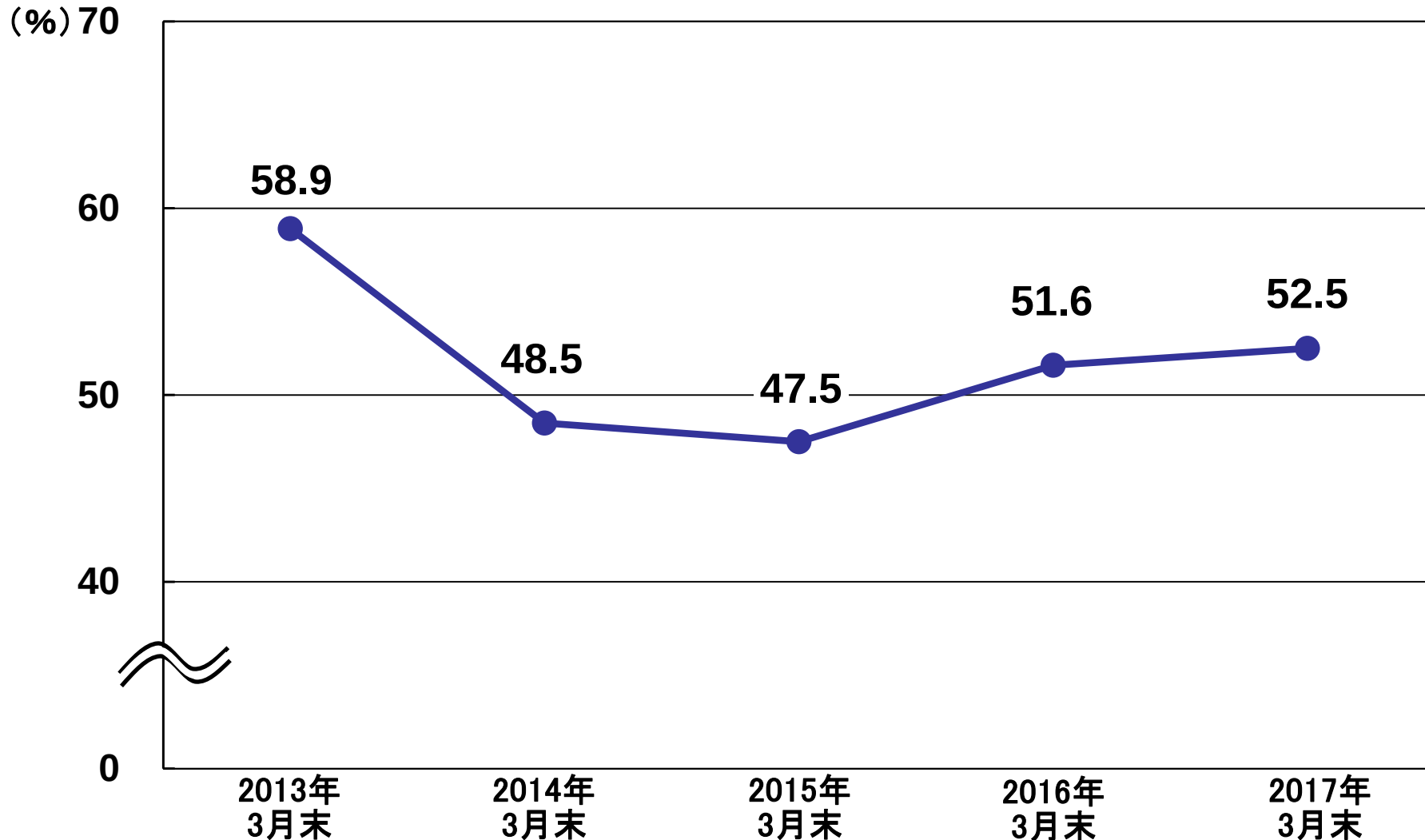
有利子負債・純有利子負債残高の推移

(億円)



※ 有利子負債は、前年度末に対して79億円減少

自己資本比率の推移



※ 前年度末に対し、+0.9%の52.5%

(円)

50.00

40.00

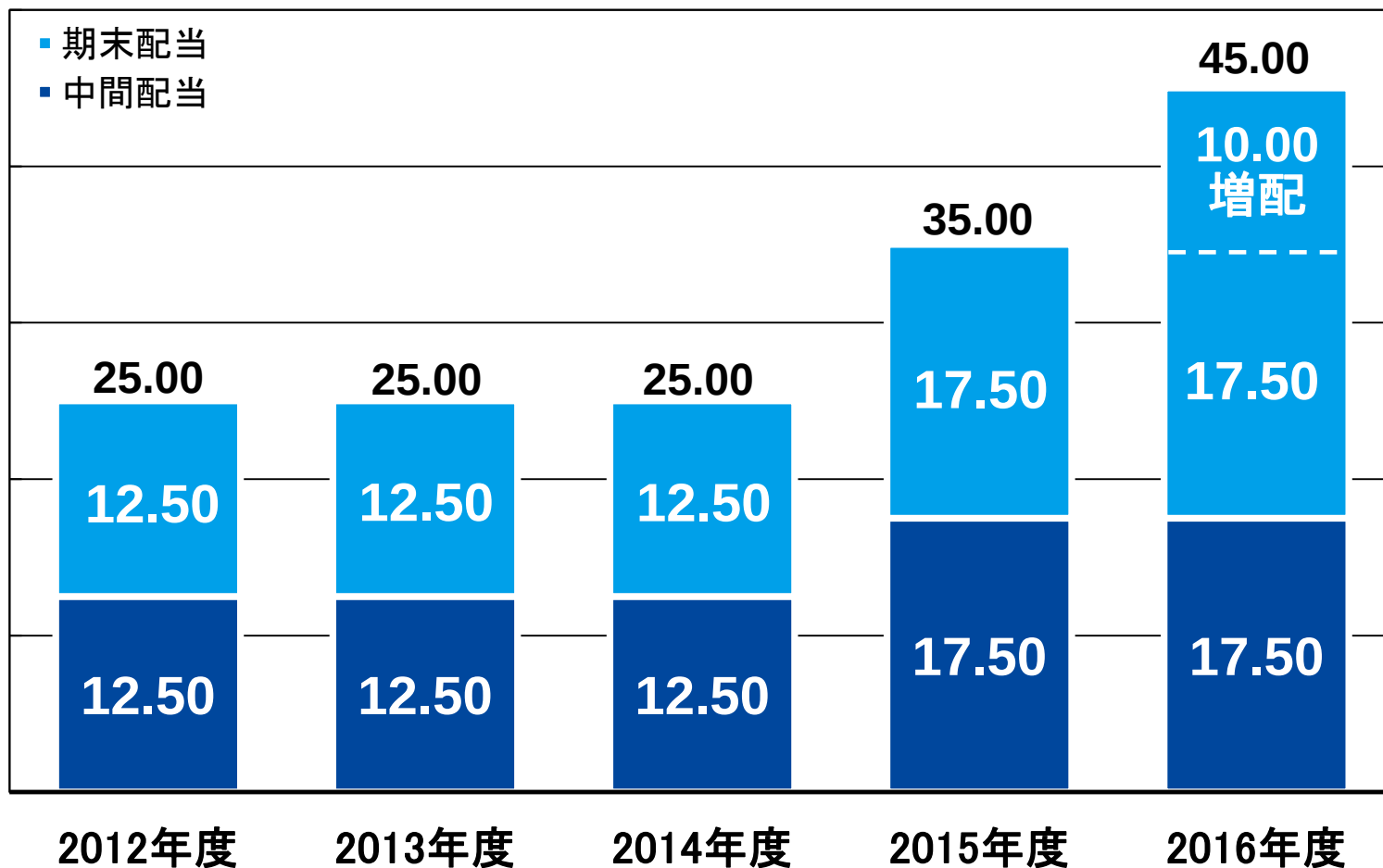
30.00

20.00

10.00

0.00

- 期末配当
- 中間配当



※ 2016年度は10円増配の45円

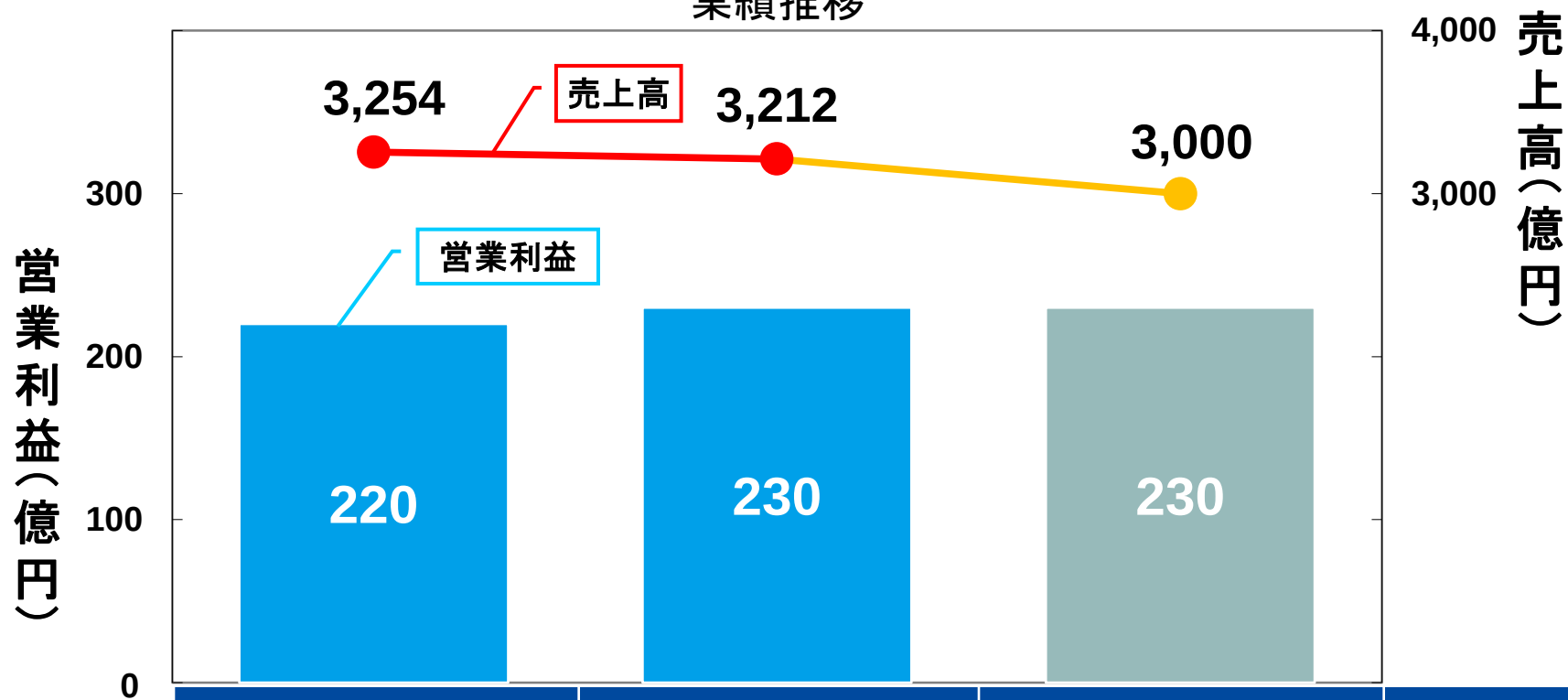


2017年度見通しについて

1. 売上高は、生産台数減および為替換算影響等により減収
(生産台数: 日本は増加、米州・アジアは減少、欧州は横ばい)
2. 営業利益は、売上減の影響はあるものの、合理化効果等により横ばい
3. 海外の生産基盤強化を中心に設備投資を計画

2017年度連結業績計画サマリー

業績推移



	15年度	16年度(A)	17年度(B)	(B)-(A)
売上高	3,254	3,212	3,000	-212
営業利益	220	230	230	0
経常利益	182	230	225	-5
親会社株主に帰属する当期純利益	98	144	140	-4

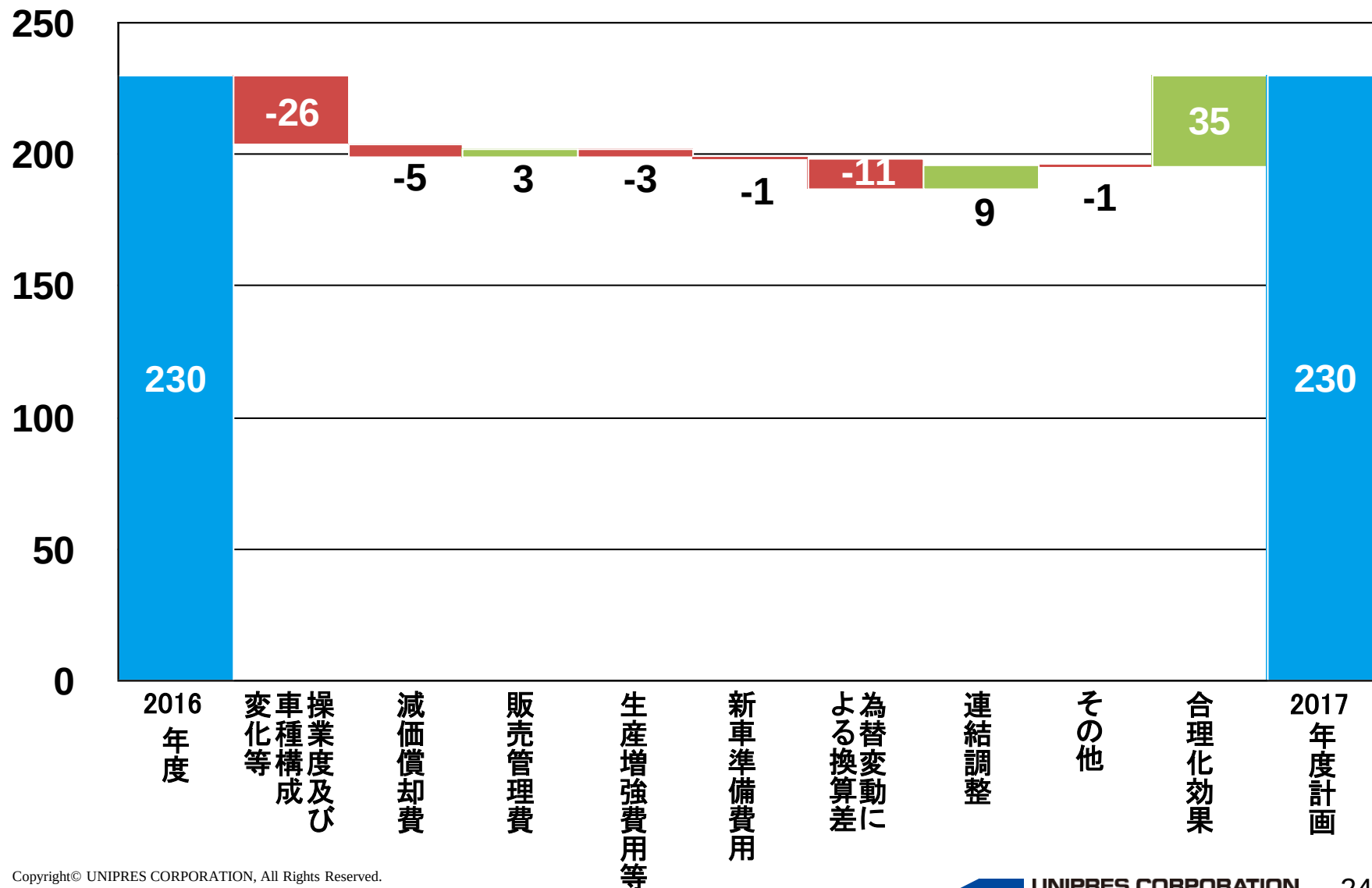
製品群別連結売上構成

(億円)

	2016年度		2017年度		売上高 増減額	構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比		
車体プレス製品	2,734	85.1%	2,520	84.0%	-214	-1.1%
トランスミッション製品	409	12.7%	417	13.9%	+8	+1.2%
樹脂製品	42	1.3%	40	1.3%	-2	0.0%
その他	27	0.9%	23	0.8%	-4	-0.1%
合計	3,212	100%	3,000	100%	-212	—

営業利益の増減見通し

(億円)



地域別売上高・営業利益(日本)

(億円)

売上高

(億円)

営業利益

1,500

100

1,000

50

500

0

2015年度

2016年度

2017年度
計画

2015年度

2016年度

2017年度
計画

931

1,071

1,073

59

62

74

※ 売上高は、前年度並みを計画

※ 営業利益は、合理化効果等により増益を計画

地域別売上高・営業利益(米州)

(億円)

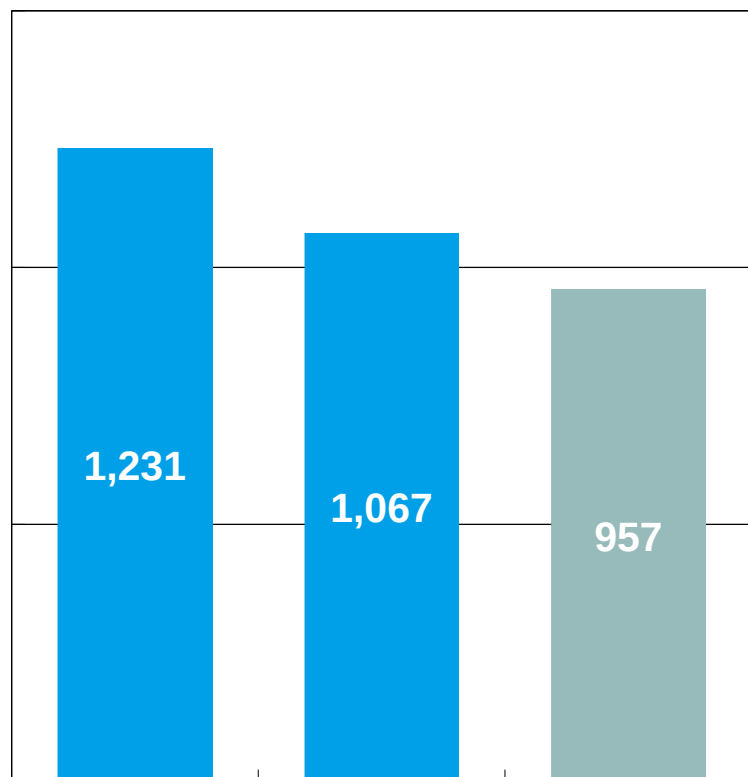
売上高

1,500

1,000

500

0



2015年度

2016年度

2017年度
計画

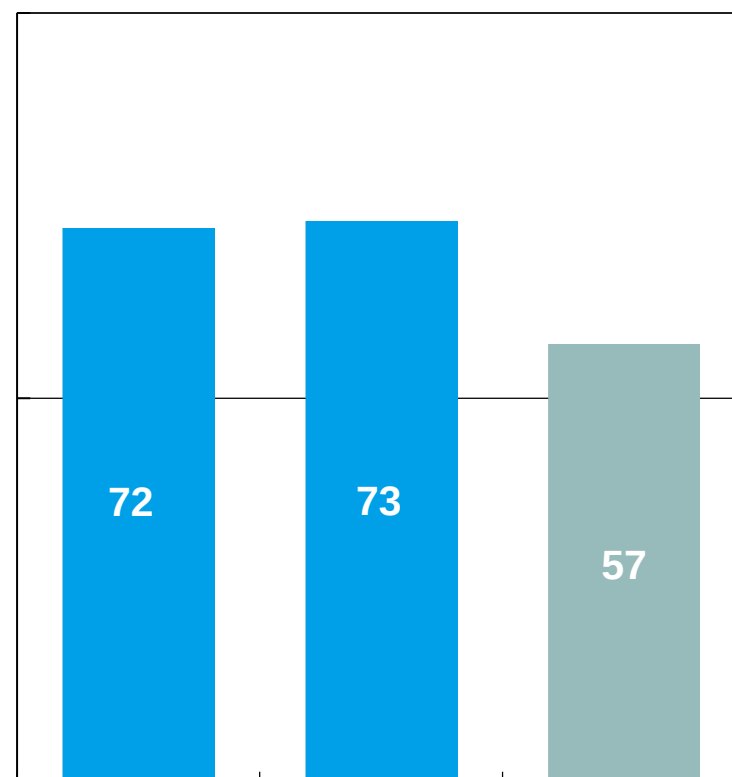
(億円)

営業利益

100

50

0



2015年度

2016年度

2017年度
計画

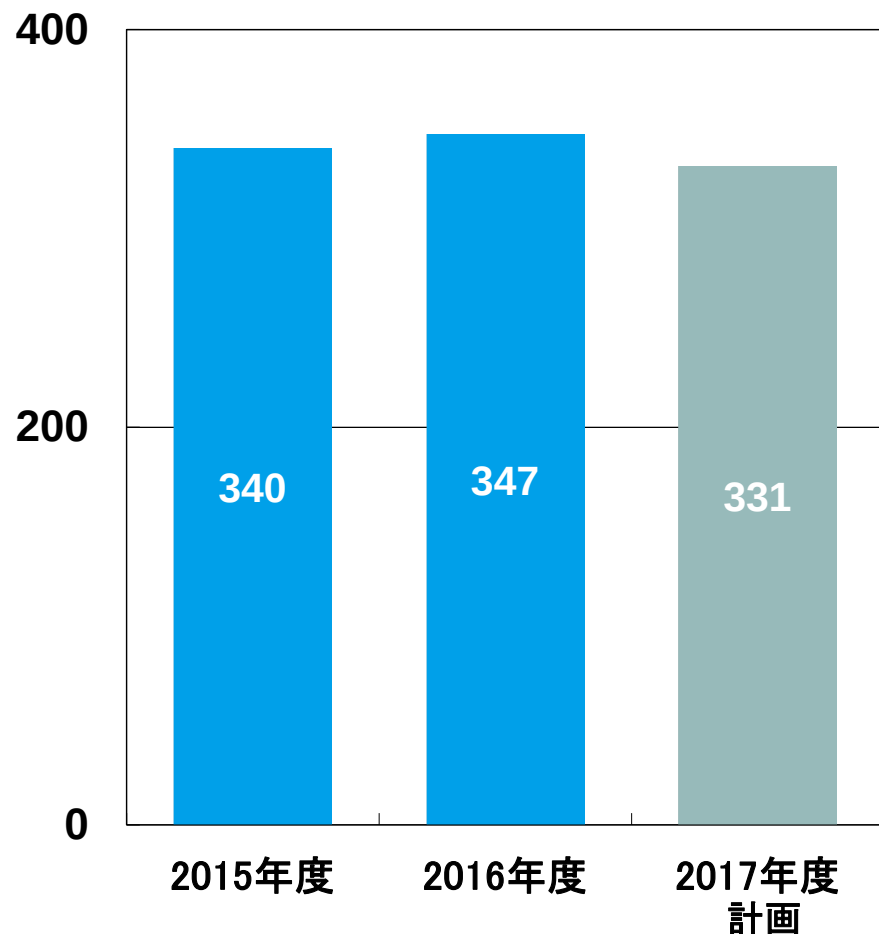
※ 売上高は、減産および為替換算影響等により、減収を計画

※ 営業利益は、減益を計画

地域別売上高・営業利益(欧州)

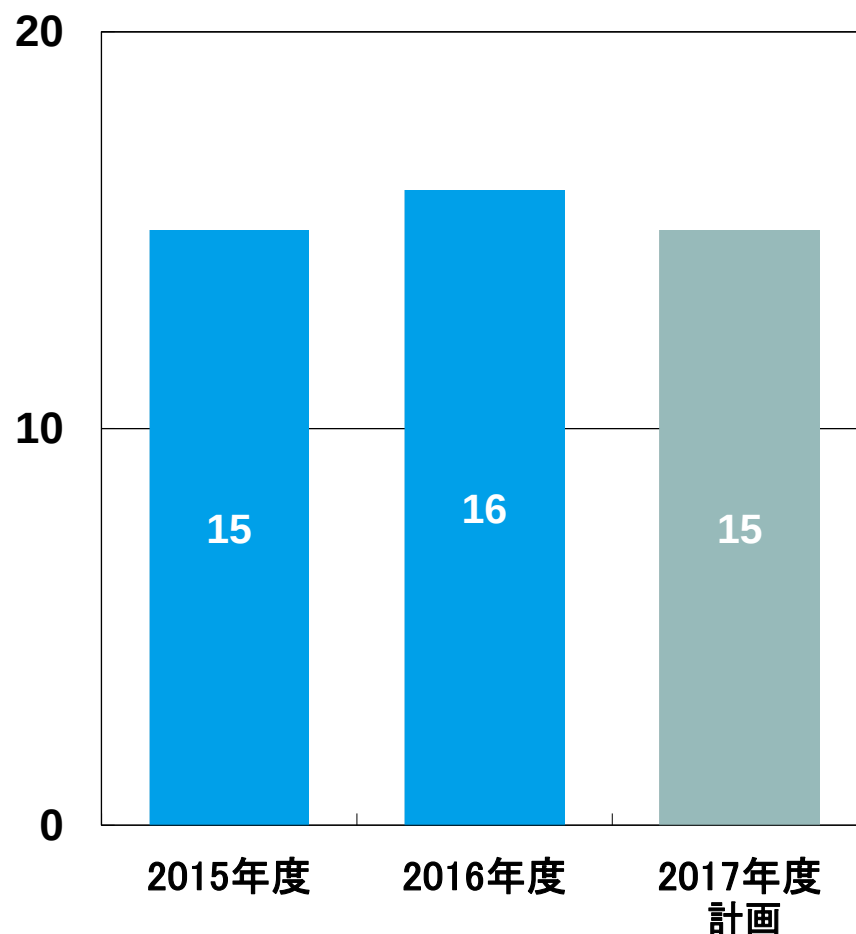
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



※ 売上高は、為替換算影響等により、減収を計画

※ 営業利益は、前年度並みを計画

地域別売上高・営業利益(アジア)

(億円)

売上高

(億円)

営業利益

1,000

100

500

50

0

0

2015年度

2016年度

2017年度
計画

2015年度

2016年度

2017年度
計画

753

727

639

70

81

78

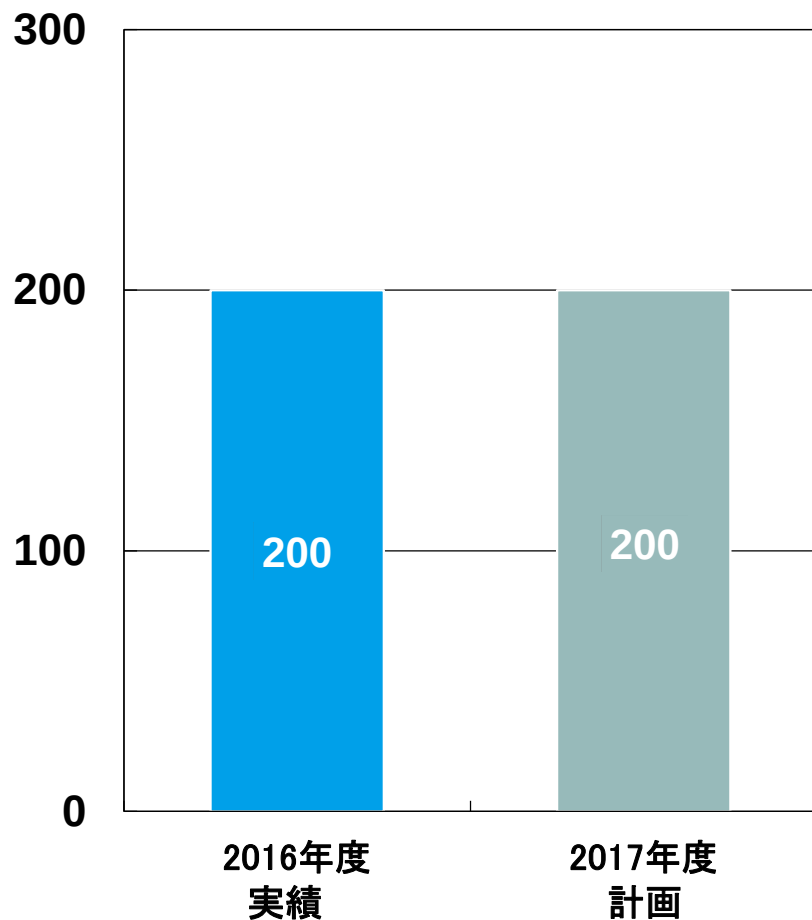
※ 売上高は、減産および為替換算影響等により、減収を計画

※ 営業利益は、前年度並みを計画

設備投資・減価償却費計画

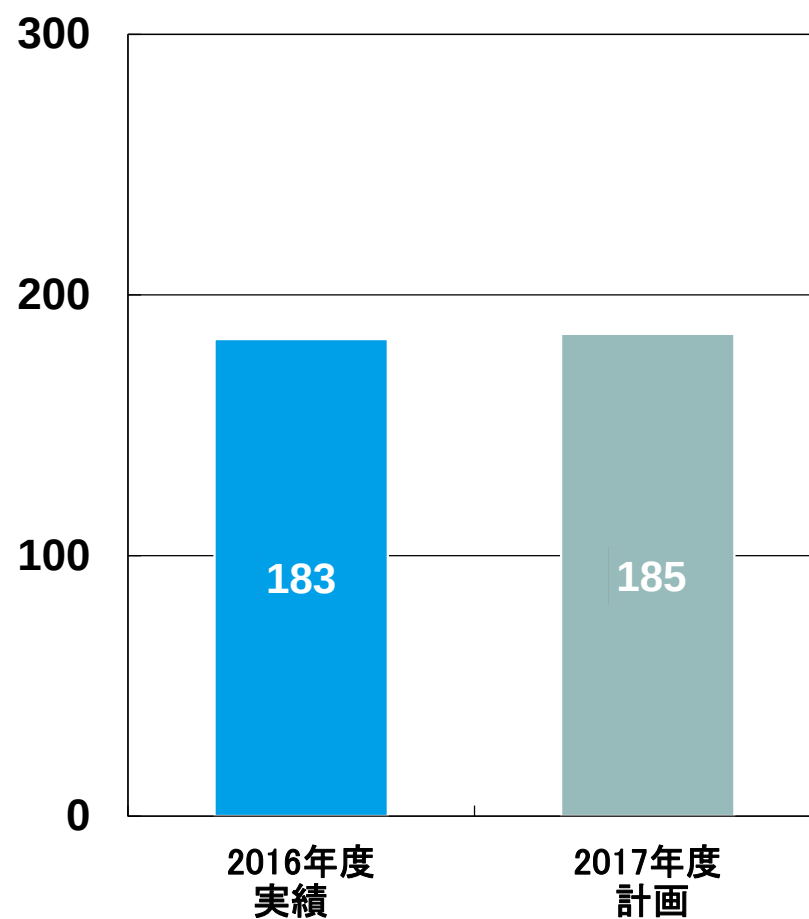
(億円)

【設備投資】



(億円)

【減価償却費】



※ 設備投資・減価償却費ともに前年度並みを計画

(円)

50.00

40.00

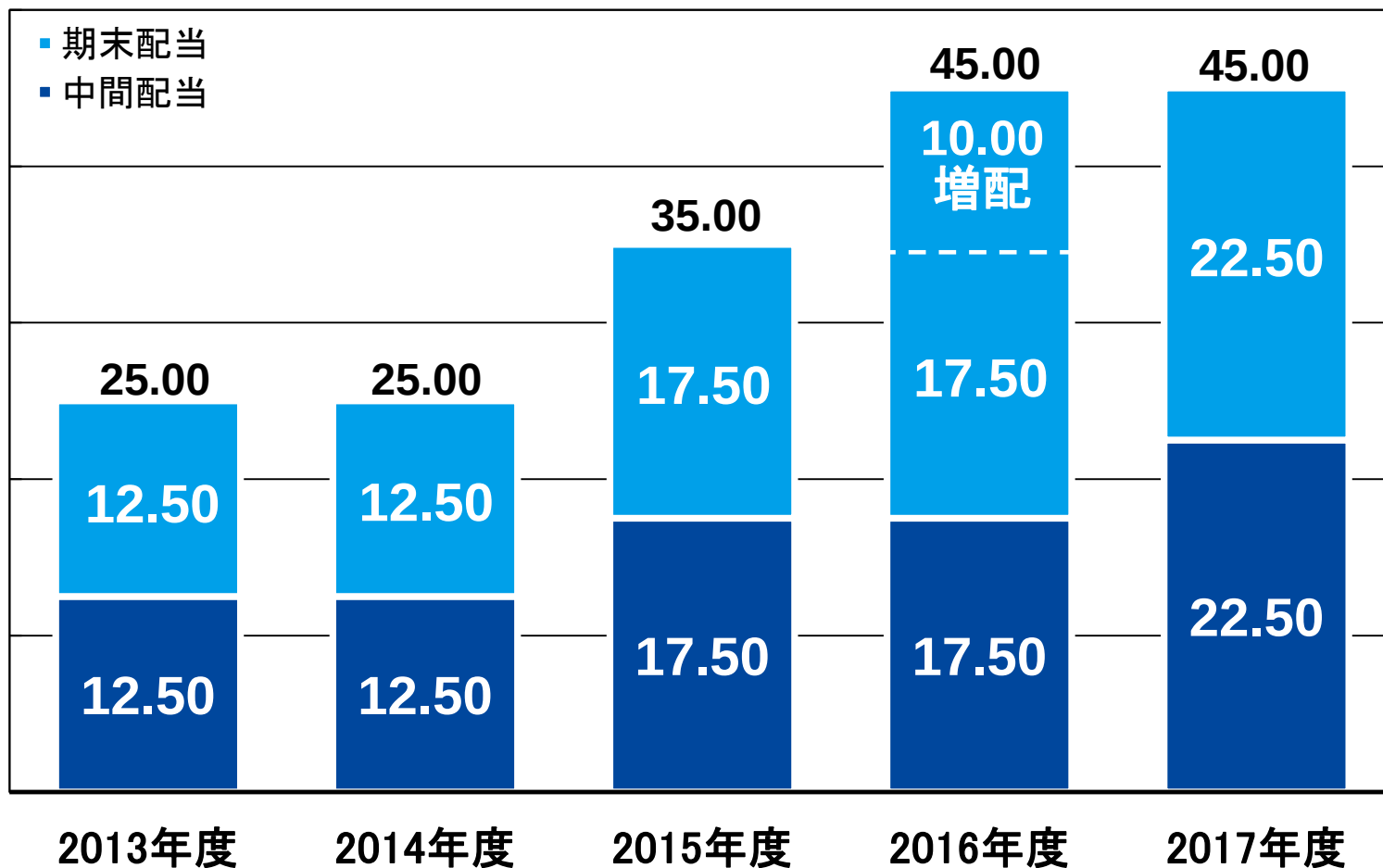
30.00

20.00

10.00

0.00

- 期末配当
- 中間配当



※ 1株45円を継続



将来に向けた基盤作り



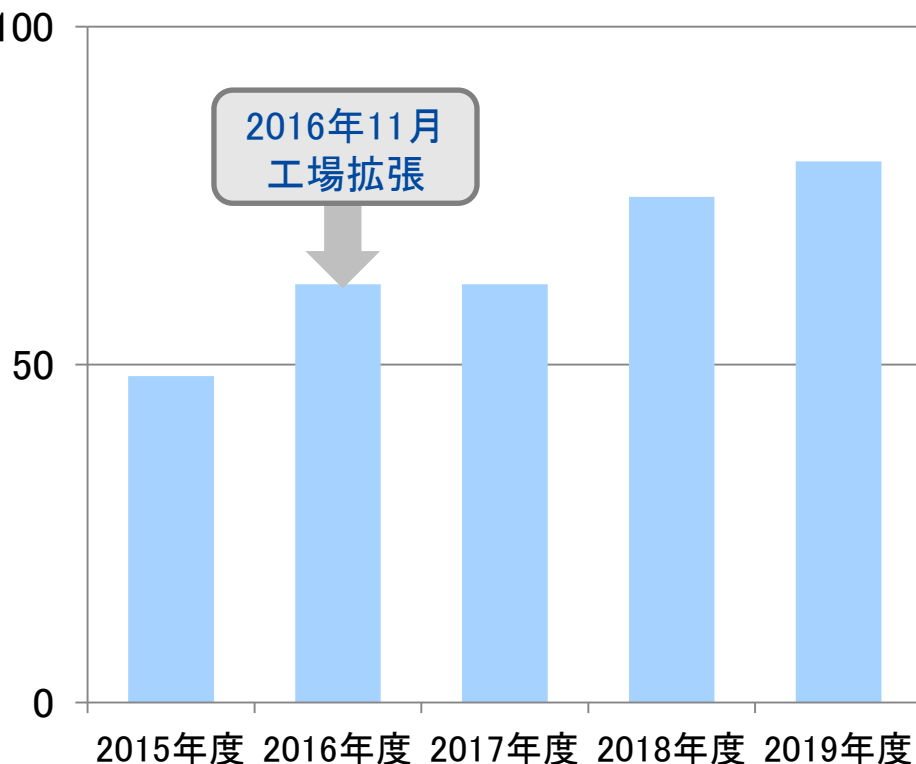
1. グローバル拠点の拡充

ユニプレス鄭州会社

(万台)

【生産台数計画】

2016年11月
工場拡張



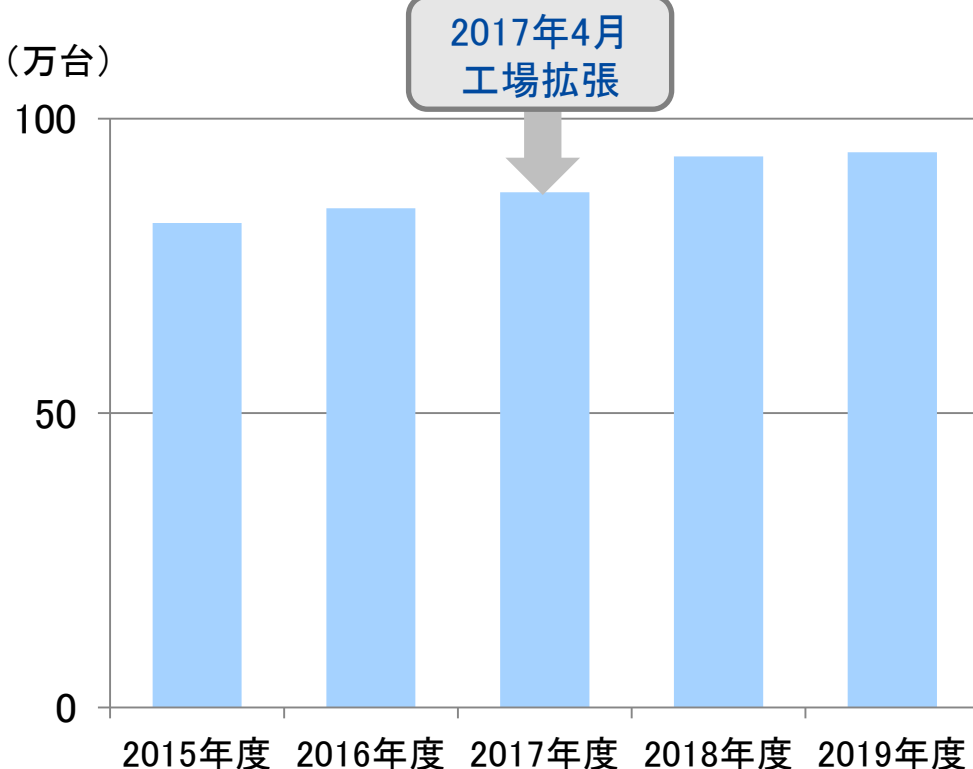
- ・東風日産向け新規車種の受注
- ・東風日産向け既存車種の生産台数増加

＜組立エリアの拡張＞



ユニプレスメキシコ会社

【生産台数計画】

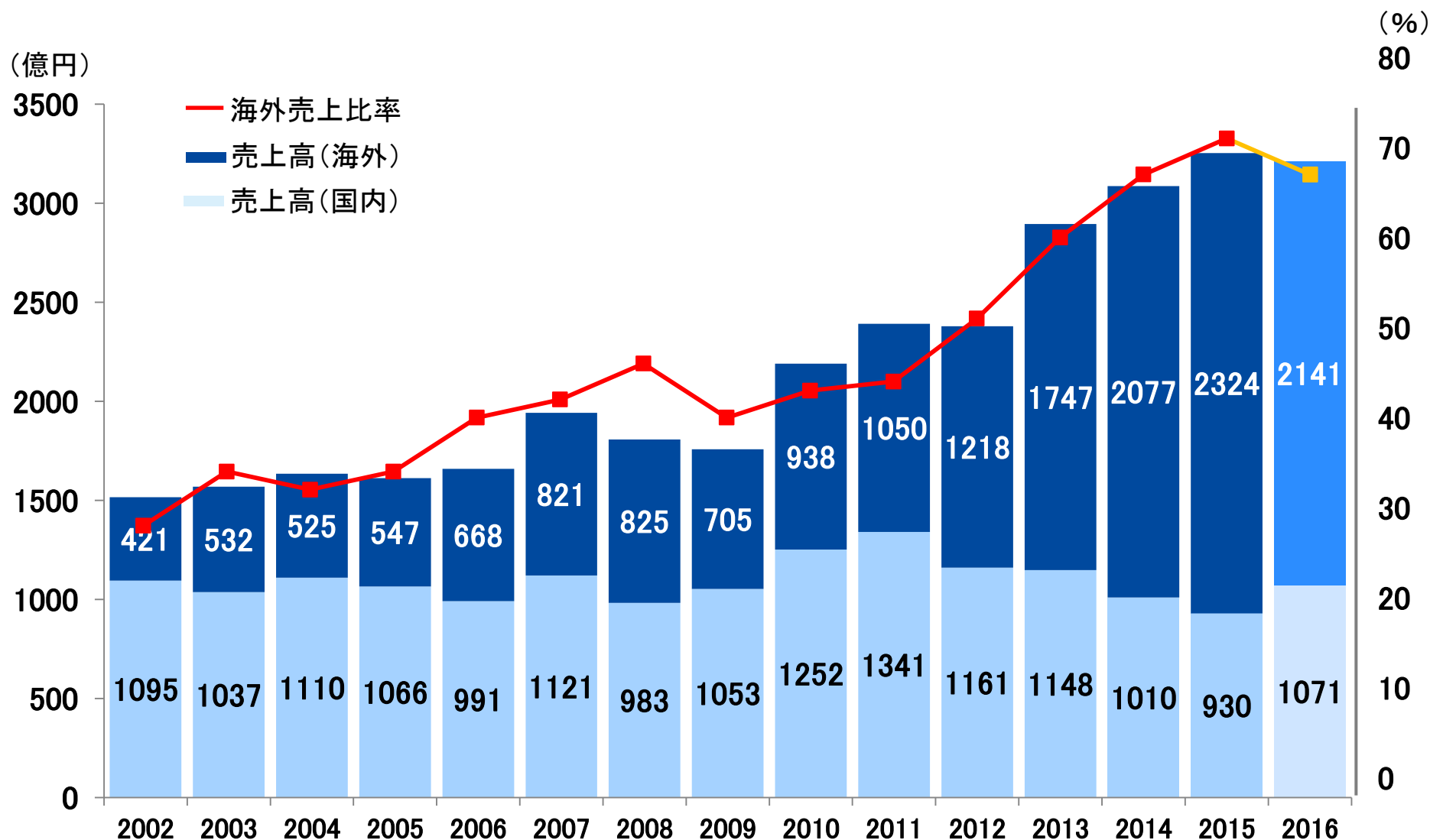


- ・日産向け新規車種の受注
- ・日産向け既存車種の生産台数増加

＜組立の新建屋建設＞



海外売上比率の推移





2. 拡販

2016年度新車立上げ実績と今後の見通し

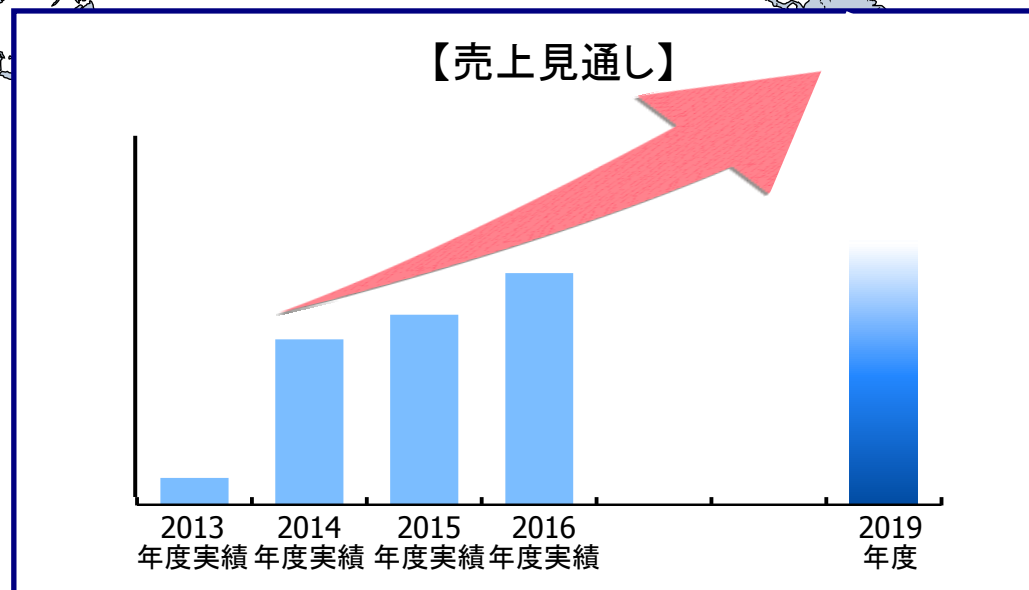
	2016	2017	2018
日本	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★	★ ★ ★
米州	★	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★
欧州	★ ★	—	—
アジア (中国・タイ・ インド・ インドネシア)	★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
計	15	16	16

- ・ 2017年度はグローバルで16車種の新車立上げを計画

日産 : 「エクストレイル」「キャシュカイ」「ローグ」
ルノー : 「カジャール」「コレオス」



「ローグスポーツ」(北米向け)



・ 2017年3月から北米向け「ローグスポーツ」を九州工場で生産開始

三菱系サプライヤーである(株)メタルテックとの
協業により、三菱自動車への拡販を狙う

株式会社メタルテック

■所在地	本社・名古屋事業所 岡山事業所
■事業内容	自動車部品・産業車両 部品・住宅機材などの 開発・設計・製造 各種金型・治具の開発・ 設計・製造
■資本金	1億円
■従業員	306名(2017年3月末現在)
■売上高	187億円(2017年3月期)



メタルテックから三菱自動車へ部品納入

< 日産圏外 グローバル売上計画 >

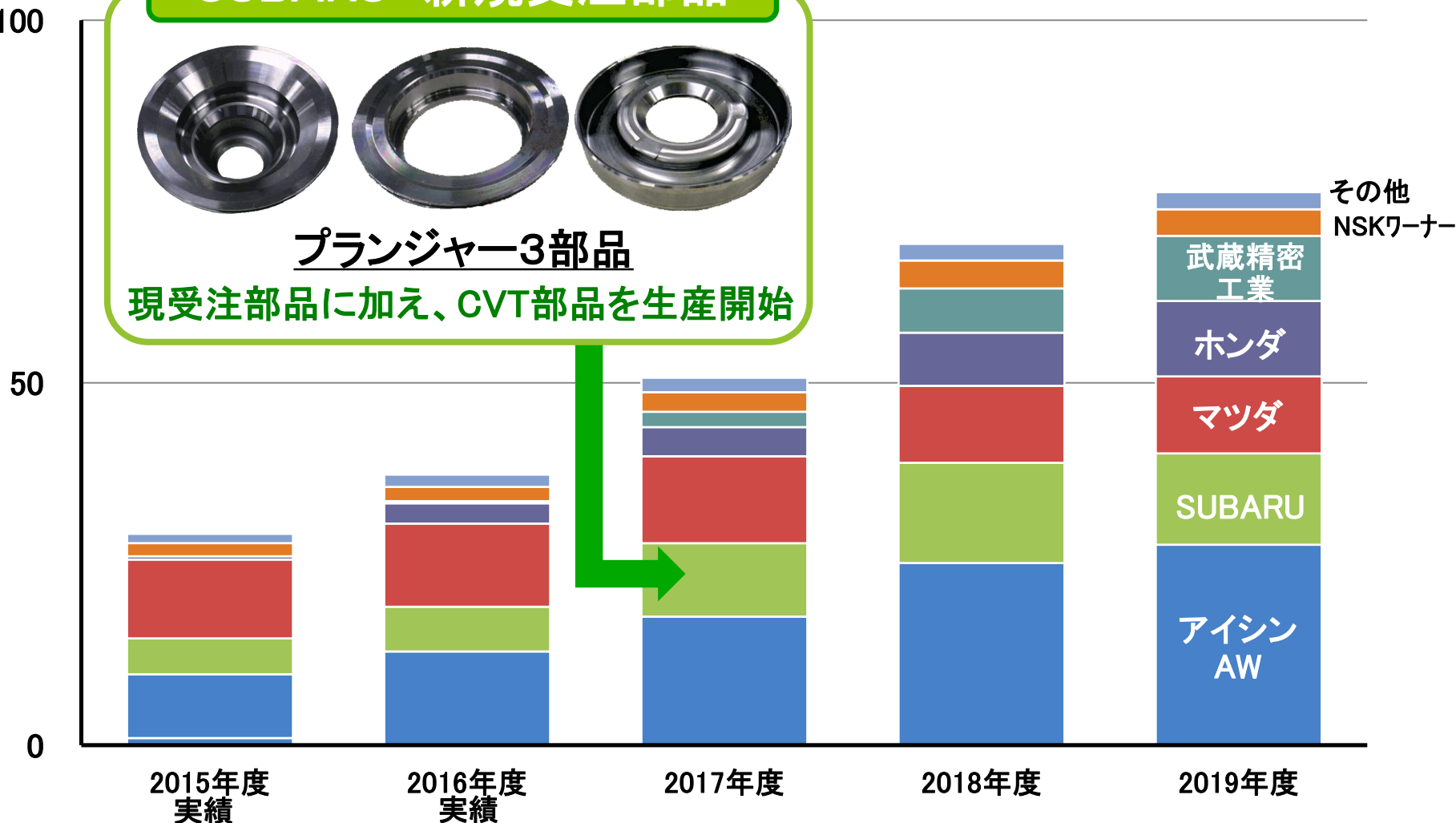
(億円)

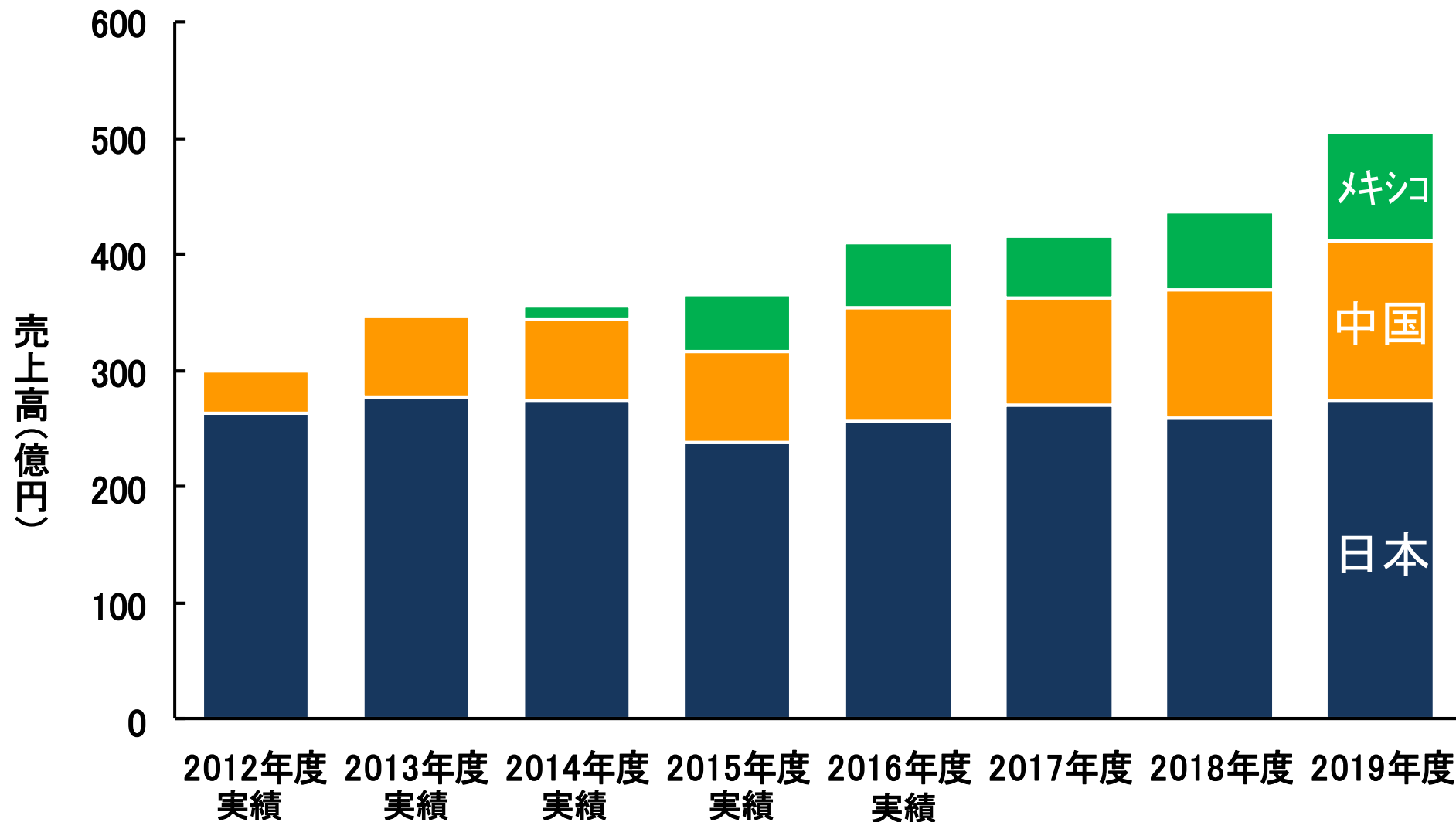
SUBARU 新規受注部品



プランジャー3部品

現受注部品に加え、CVT部品を生産開始





・ ジヤトコの世界展開などを背景に、海外売上の拡大を図る



3. 技術開発

車体に要求される衝突安全性能とCO₂排出量削減・燃費向上のため、高強度化と軽量化の両立を目指し、以下の取り組みを実施している。

1.冷間プレス

これまで超ハイツ材の適用を行い、1.2GPa材は既に適用が可能となった。更なる超ハイツ材の採用と難成形部品への適用拡大を推進する。

2.ホットスタンプ

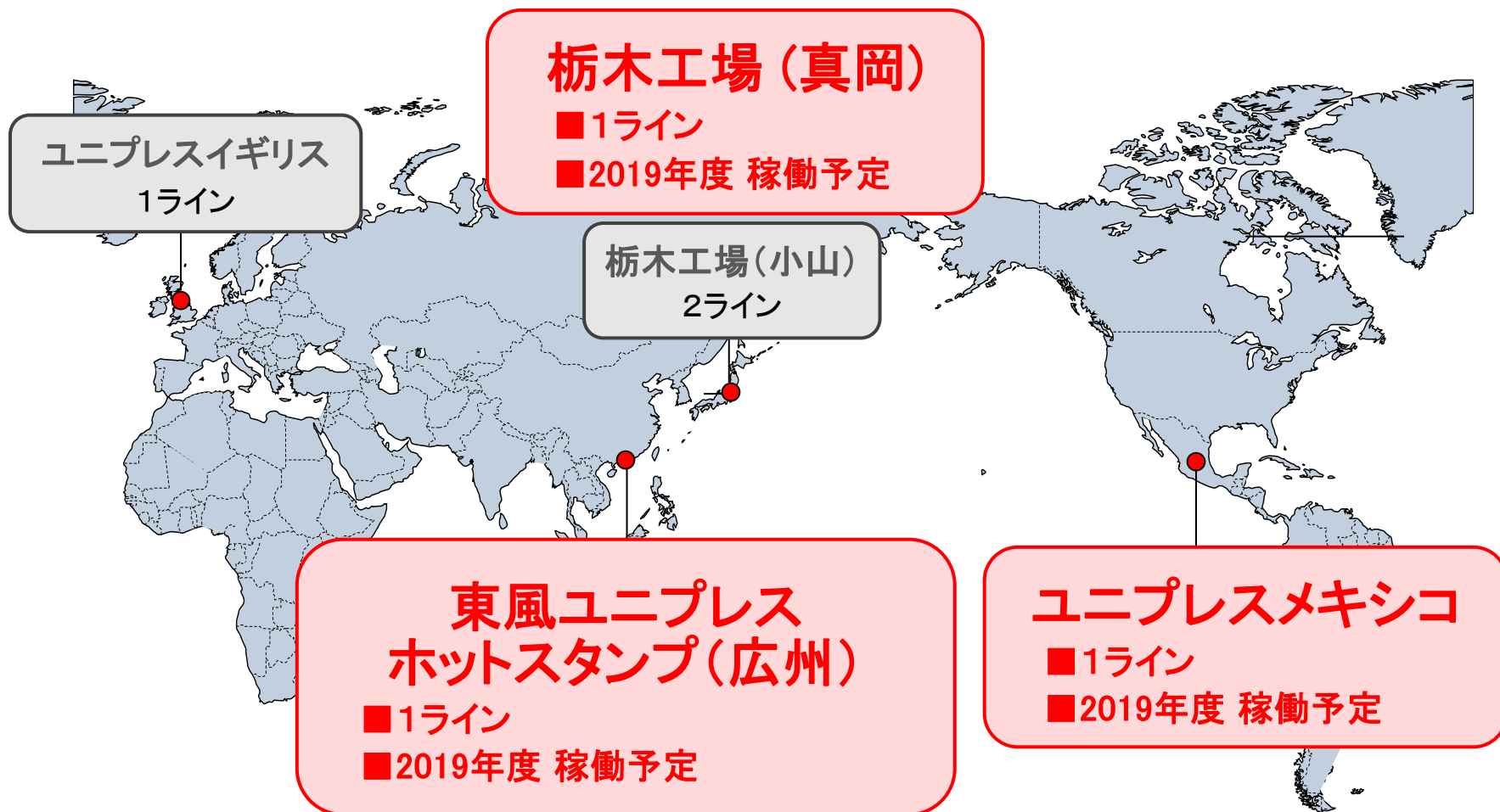
成形の難しい深絞り部品への適用拡大と生産性向上、及び加工費を抑えた低コスト技術開発を推進する。

3.アルミニウムの適用

OEMニーズにタイムリーに対応できるよう、アルミニウム材を用いた成形技術と接合技術開発を推進する。

4.CFRP材の適用

将来の軽量化ニーズに対応する為、成形、接合技術に関する基礎的な開発を推進する。

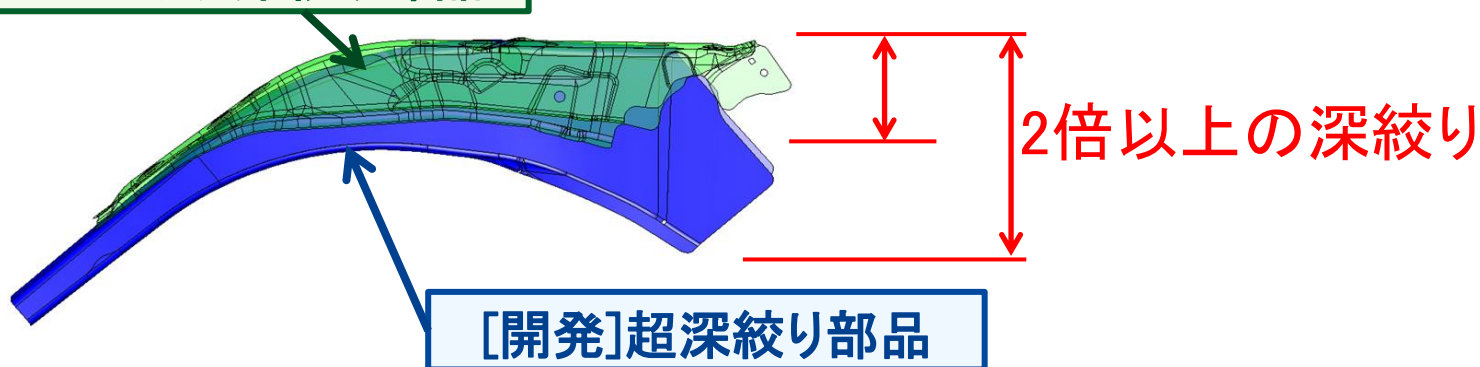


既存のイギリス・栃木工場 (小山) に加え、中国・メキシコ・栃木工場 (真岡) で新規導入を計画

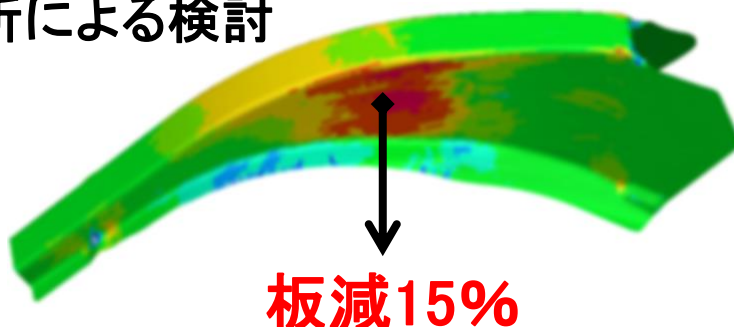
ホットスタンプの超深絞り技術

ホンダUSシビックのホットスタンプ深絞り部品で、
更なる「超深絞り部品」を開発。

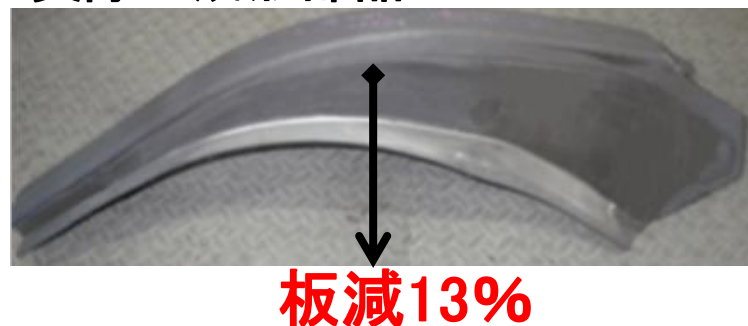
[従来]USシビック深絞り部品



〈超深絞り試作品製作〉
成形解析による検討

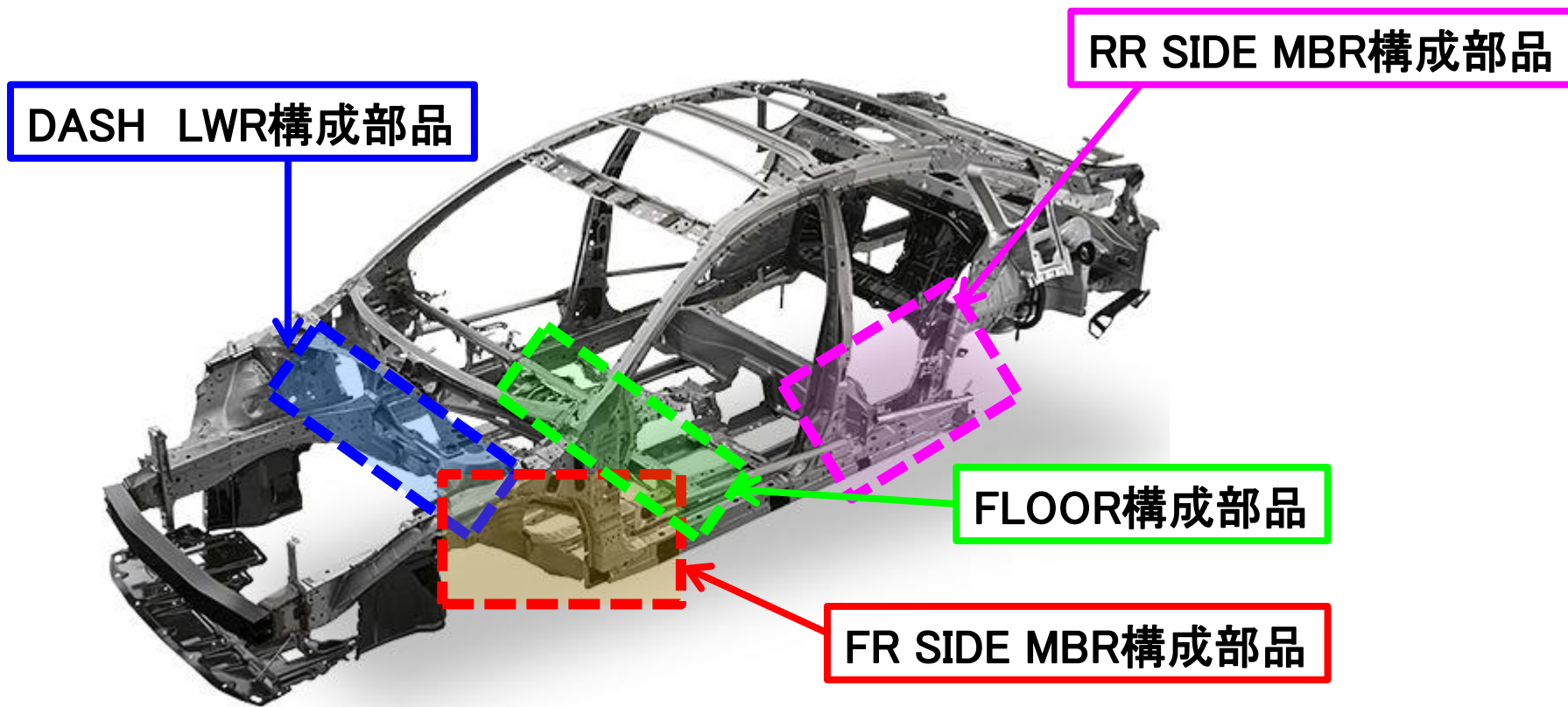


実際の成形部品



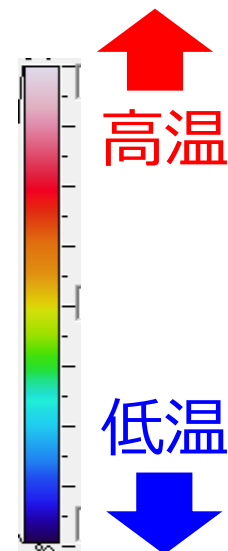
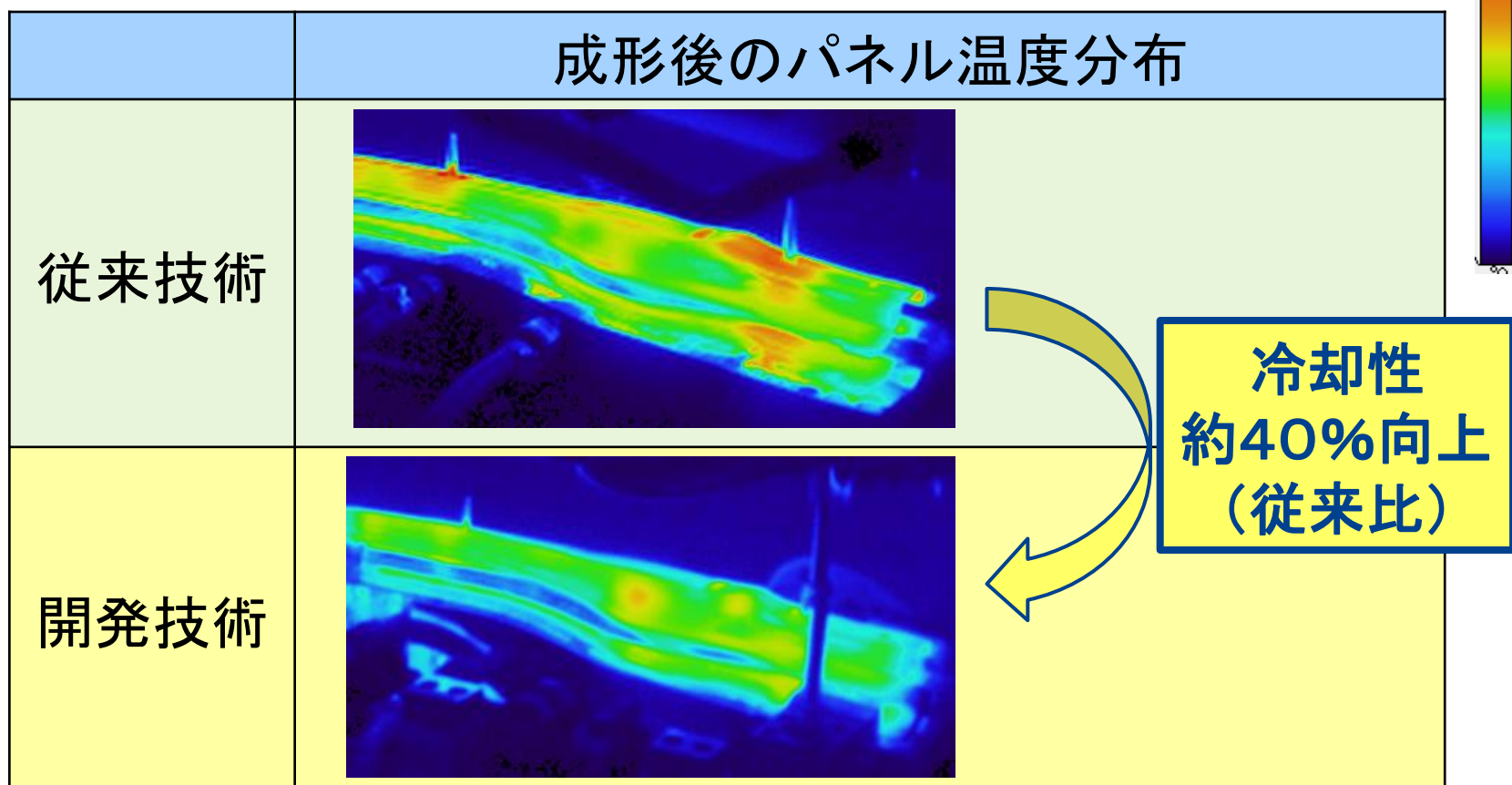
ホットスタンプの超深絞り技術

下記のホットスタンプ車体骨格部品を受注。
成形の厳しい部品には超深絞り技術を適用。



ホットスタンプの急速冷却技術

金型の冷却効率を上げる工夫により、
パネルの冷却性を約40%向上させることができた。



※同部品、同冷却時間で比較

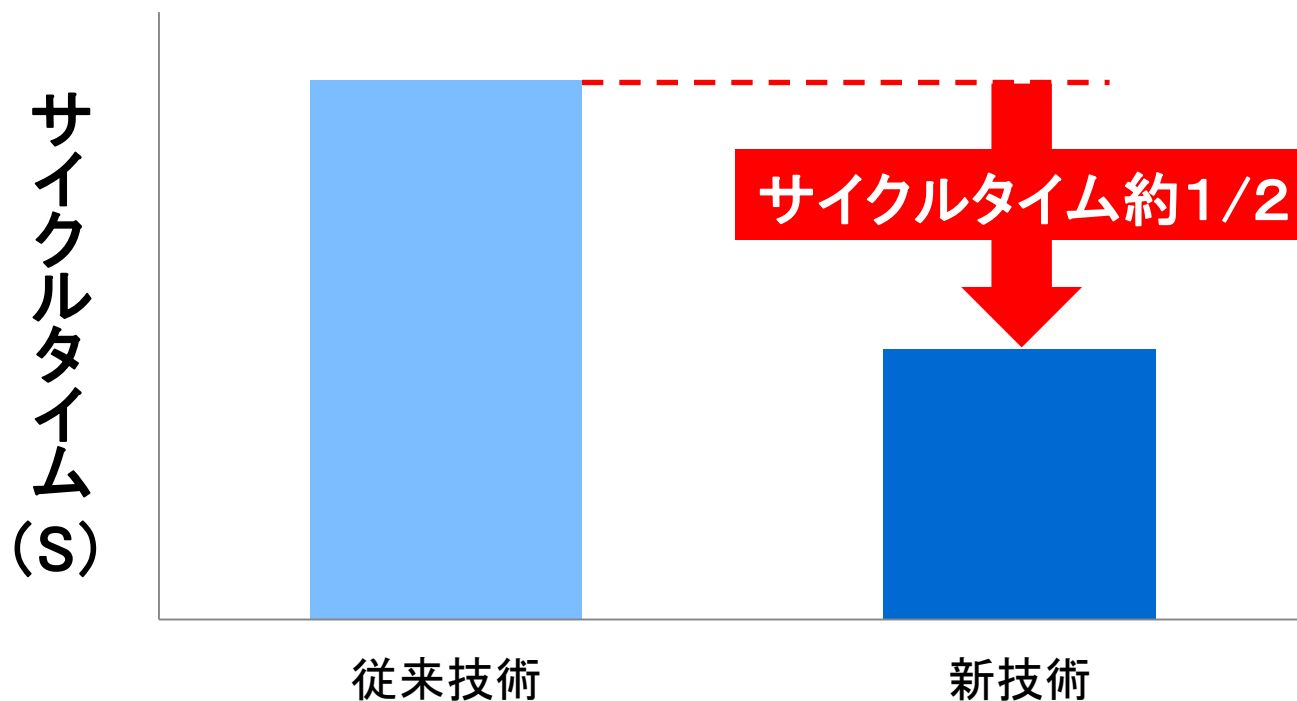
ホットスタンプ工法の新開発(2)

ホットスタンプの急速冷却技術

急速冷却技術により、生産性向上が可能となった。

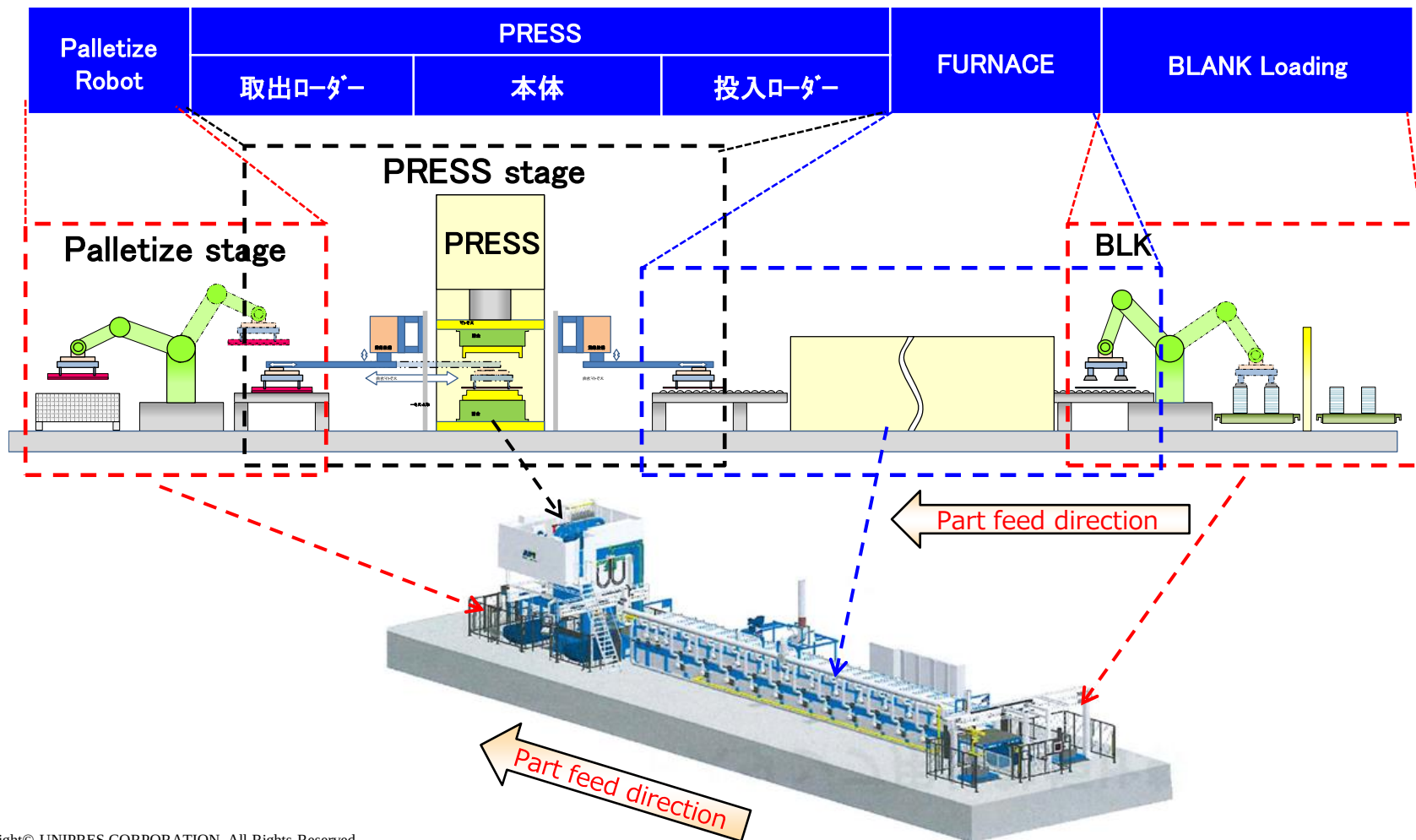
サイクルタイムが約1/2に短縮

➡ 生産性が約2倍に向上



新規導入予定ライン

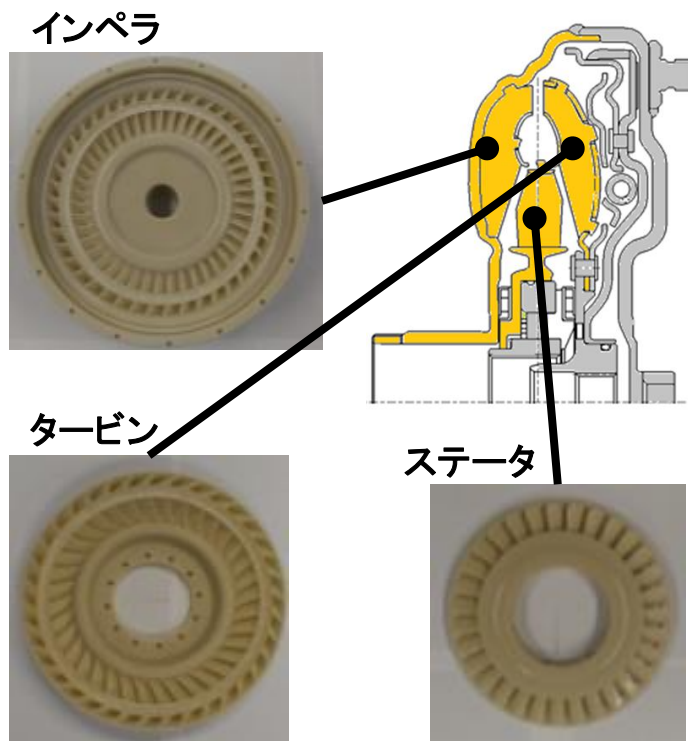
急速急冷技術の採用で業界トップレベルの生産性を目指す。



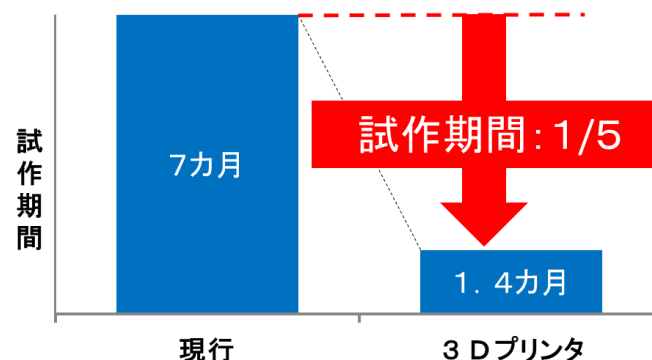
【開発概要】

3Dプリンタでの樹脂成形技術を、トルクコンバータ開発における部品試作に適用し、動的流体性能評価に活用することで、試作期間の短縮、試作費の抑制を実現

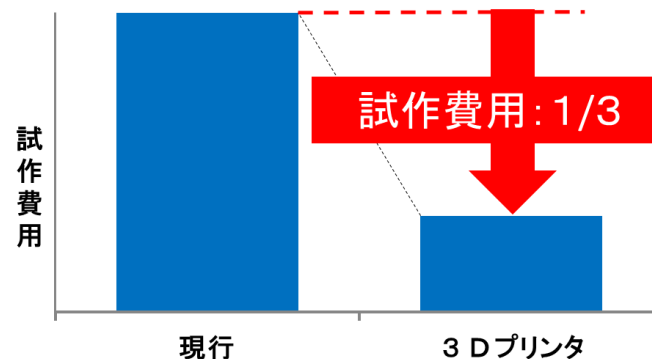
3Dプリンタ樹脂成形による流体性能部品



試作期間の短縮



試作費用の抑制

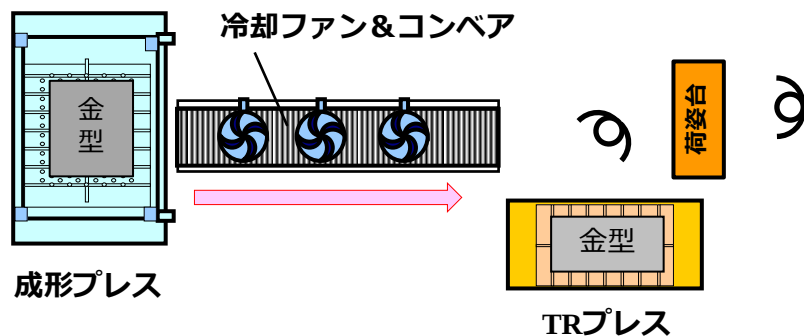


ドライミスト冷却工法の開発

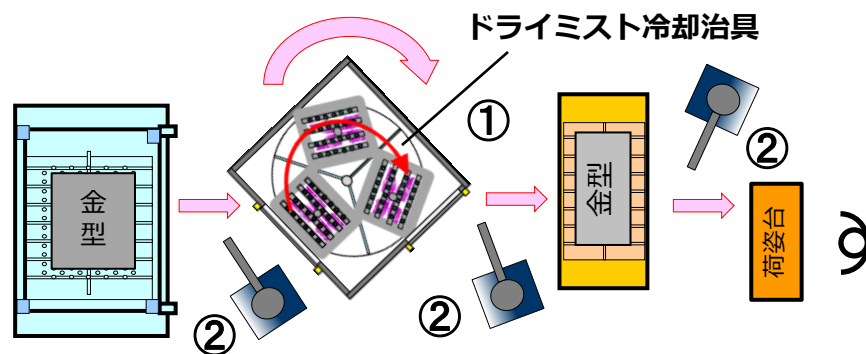
※USS工法とは

材料をシート状に伸ばし、連続してプレス成形

従来工法



新工法



開発内容

- ①成形後の型外冷却の治具化(空冷→ドライミスト冷却)
- ②投入、取り出し作業のROB化

効果

- ・SPM33%向上
- ・省人化による加工費低減(▲20%)

**USS工法の
コスト競争力強化**



4. 中期経営方針

プレスを究めて、プレスを越える

1. 市場ニーズを先取りした技術開発型企业
2. 競争力No.1を維持するコスト開発型企业
3. 自動車産業の構造変化に対応した
グローバル戦略型企业

■ マクロ経済

米欧の政治要因による懸念あるものの世界経済は安定

長期的には新興国需要を中心とした市場拡大も期待

- ・北 米 … 市場規模・経済施策期待から引き続き主力市場として期待
- ・中 国 … 経済動向に懸念はあるものの新車需要は旺盛
- ・新興国 … 中長期的な成長期待は変わらず
- ・日 本 … 中長期的な漸減トレンド、為替影響を注視

■ 自動車業界

多様化と低価格化

⇒ 小型化、廉価車、新興国市場のウェイト拡大

グローバル化

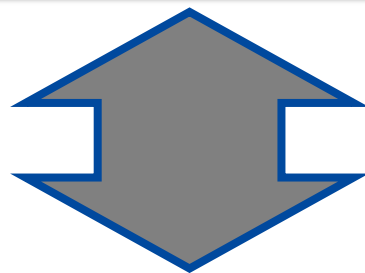
⇒ グローバルモデル・多極同時立上げモデル

燃費・安全・快適ニーズの高まり

⇒ 車体軽量化と高強度化の両立、パワートレイン革新

**グローバル展開力、新技術・開発対応力が
サプライヤーの競争力のカギに**

グローバルNo.1企業を目指し、
UPS活動の推進により収益力と競争力を強化する



コア領域の深化と新たな領域への取り組み

- ・ プレス技術を軸とするコアドメイン戦略は不変
- ・ 新工法・新材料等、プレス技術の応用領域拡大により、
新たな市場・製品開拓を強化

経営の重要な4つの課題と取り組み

■9カ国16拠点

- ・生産基盤の強化

■新たな市場領域

- ・グローバル拡販(ホンダ・ルノー・三菱等)
- ・トランスミッション部品事業の強化・拡大

グローバル展開と
生産基盤の強化

■グローバルQCD

- ・UPS活動の更なる向上
 - 15KPI ※Key Performance Indicator
- ・グローバル品質の向上と
コスト競争力の強化

業界トップレベルの
競争力

課 題

製品・素材・工法
の革新

グローバル
マネジメントの強化

■新製品・新技術の開発

- ・生産技術革新
- ・グローバルモデル対応技術

■外部との共同研究拡充

- ・高炉メーカー、自動車メーカー

■グローバル管理機能の強化

- ・日本のグローバル管理機能強化
- ・地域統括会社の機能強化

■グローバル人財の強化・登用

中期経営目標

2019年度目標

売上高

3,250億円

営業利益

260億円

売上高

営業利益

(単位: 億円)

230

230

250

260

3,212

3,000

3,150

3,250

為替影響

2016年度
実績

2017年度

2018年度

2019年度



UNIPRES

(円)

	2015年度 通期		2016年度 通期		2017年度 計画前提
	期中平均	期末	期中平均	期末	
米ドル	120.15	112.69	108.72	112.20	110.00
英ポンド	184.79	178.60	147.37	143.06	133.00
ユーロ	133.66	131.67	120.56	122.73	117.00
ペソ	7.59	6.99	5.84	5.64	5.35
人民元	19.20	18.34	16.41	16.76	15.50
ルピー	1.83	1.70	1.62	1.73	1.65
バーツ	3.53	3.35	3.10	3.25	3.00
ルピア	0.0090	0.0088	0.0082	0.0087	0.0081

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 主要市場（日本、米州、欧州、アジア等）の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- ・ 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- ・ 為替相場の大幅な変動
- ・ 金融・資本市場における金利等の変動 など